

# Touchstone<sup>®</sup> DG6700C DOCSIS 3.0<sup>®</sup> ワイヤレスゲートウェイ

ユーザーガイド

2015 年 11 月

© 2015 ARRIS Enterprises, Inc. All rights reserved.

No part of this publication may be reproduced in any form or by any means or used to make any derivative work (such as translation, transformation, or adaptation) without written permission from ARRIS Enterprises, Inc. ("ARRIS"). ARRIS reserves the right to revise this publication and to make changes in content from time to time without obligation on the part of ARRIS to provide notification of such revision or change.

ARRIS, Touchstone, and the ARRIS logo are all trademarks of ARRIS Enterprises, Inc. Other trademarks and trade names may be used in this document to refer to either the entities claiming the marks and the names of their products. ARRIS disclaims proprietary interest in the marks and names of others.

ARRIS provides this guide without warranty of any kind, implied or expressed, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose. ARRIS may make improvements or changes in the product(s) described in this manual at any time.

The capabilities, system requirements and/or compatibility with third-party products described herein are subject to change without notice.

# 目次

1. 利用を開始する .....	5
梱包品 .....	5
必要により使用される用品（同梱されていません） .....	6
システム要件 .....	6
お問い合わせ先 .....	6
2. 製品の概要 .....	7
前面パネル .....	7
背面パネル .....	8
DG6700C 製品ラベル .....	9
3. DG6700C の設置する .....	10
DG6700C とコンピューターを接続する .....	10
インターネット接続を確立する .....	11
4. 無線ネットワーク接続を設定する .....	12
DG6700C クイックスタートウィザードを起動する .....	12
コンピューター(PC)の無線インターフェイスを設定する .....	18
Windows のタスクバーを使用してクイック接続する .....	18
Windows のコントロールパネルから接続する .....	20
無線ネットワーク接続をテストする .....	22
5. DG6700C と接続済みネットワークを管理する .....	23
DG6700C ウェブマネージャーを起動する .....	23
DG6700C ウェブマネージャーのメニュー .....	24
ヘルプを利用する .....	26
ヘルプ - 概要 .....	26
ヘルプ - この機器について .....	27
入力項目でのヘルプ .....	27
DG6700C 製品情報を表示する .....	28
DG6700C 構成情報をバックアップする .....	28
構成情報を復元する .....	29
構成情報をリセットする .....	29
DG6700C ウェブマネージャーを終了する .....	30
6. ネットワークを保護、管理する .....	31
不正アクセスを回避する .....	31
デフォルトのユーザー名とパスワードを変更する .....	31
ファイアウォールを設定する .....	33
ポートフォワーディングを設定する .....	34
DMZ ホストを設定する .....	36
7. 無線ネットワークを設定する .....	37
ワイヤレスプライマリネットワークを設定する .....	37

無線ゲストネットワークを設定する .....	39
無線ネットワーク名 (SSID) を変更する .....	41
無線チャンネルを変更する .....	43
<b>8. トラブルシューティングのヒント .....</b>	<b>45</b>
解決策 .....	45
前面パネルの LED アイコンとエラー状態 .....	46
<b>9. DG6700C 構成画面の定義 .....</b>	<b>48</b>
「基本」画面 .....	48
セットアップ .....	48
DHCP .....	48
DDNS .....	51
バックアップと復元 .....	51
「詳細」画面 .....	53
オプション .....	53
IP フィルタリング .....	55
MAC フィルター .....	56
ポートフィルタリング .....	57
ポートフォワーディング .....	58
DMZ ホスト .....	59
「ファイアウォール」画面 .....	60
保護レベル .....	60
<b>10. 安全上の注意 および 法規制に関する情報 .....</b>	<b>62</b>

## 利用を開始する

ARRIS Touchstone® DG6700C DOCSIS® 3.0 ワイヤレスゲートウェイは、DOCSIS 3.0 ケーブルモデムとデュアルバンド コンカレント Wi-Fi アクセス ポイント および 4 ポートのギガビット イーサネット ルーターを備えたオールインワンデバイスです。コンピューターや無線ネットワーク機器が、ホームネットワークや小規模ネットワークで安全に高速の有線/無線ブロードバンド接続を利用できます。DG6700C は Wi-Fi® ペ어링ボタン(WPS)も備えており、すばやく簡単にワイヤレス機器を接続できます。

このガイドでは、DG6700C の設置と構成、安全な無線ネットワーク接続の設定、ゲートウェイやネットワーク構成の管理の方法について説明します。

## 梱包品

本製品には以下のものが梱包されています。お使いになる前に必ずご確認ください。万一、不足しているものや破損しているものなどがございましたら、恐れ入りますがご契約されたケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

表 1-1: DG6700C パッケージの内容

梱包品		説明
Touchstone DG6700C DOCSIS 3.0 ワイヤレス ゲートウェイ 本体 (1台)		高速 DOCSIS 3.0 ケーブルモデム、ワイヤレスアクセスポイント、 4 ポート ギガビットイーサネットルーター
ACアダプタ (1セット)		電源アダプタとコード (コンセント接続用)
LAN(ローカルエリアネットワーク)ケーブル (1本)		標準的なカテゴリ 5 (CAT5) のネットワークケーブル
安全性上の注意、ソフトウェアライセンス、保証について(1冊)		安全性上の注意と法規制に関する情報、ソフトウェアライセンス、保証書
かんたん設定ガイド (1冊)		ゲートウェイを設置し、ホームネットワークで安全なワイヤレス接続を設定するための基本的な情報を提供します。

## 必要により使用される用品

以下の用品は同梱されていないので、別途ご用意ください。通常、ご契約のケーブルテレビ会社の本製品の設置を行いますので、エンドユーザであるお客様での用意は不要です。

- 同軸ケーブル (壁のコンセントに接続されていない場合)
- RF スプリッタ (セットトップボックスやスマート TV など、同軸ケーブルを追加で接続する必要がある場合)

## システム要件

- 高速インターネット用アクセスアカウント (ケーブルテレビ会社にご確認ください。)
- ウェブブラウザのアクセス (Internet Explorer、Google Chrome、Firefox、Safari)
- 互換性のあるオペレーティングシステム:
  - Windows® 10
  - Windows 8、8.1
  - Windows 7 Service Pack 1 (SP1)
  - Windows Vista™ SP2 以降
  
  - Mac® OS 10.4 以降
  - UNIX®
  - Linux®

## 製品情報

本製品に関する情報について:

- 日本向け製品情報ウェブサイトをご覧ください。  
(<http://www.arris.com/consumer>)

## 製品の概要

## 前面パネル



図 2-1: DG6700C 前面

表 2-1: DG6700C 前面パネルアイコン

アイコン	LEDの状態	DC6700Cの状態
電源  POWER	緑色の点灯表示	正しく接続され、使用可能な状態です
受信  RECEIVE	緑色の点滅	ダウンストリーム(受信)チャンネルをスキャンしています
送信  SEND	緑色の点滅	アップストリーム(送信)チャンネルをスキャンしています
オンライン  ONLINE	緑色の点滅	接続処理中を表します
	緑色の点灯	接続完了(オンライン中)

アイコン	LEDの状態	DC6700Cの状態
ワイヤレス(2.4GHz)  2.4G	緑色の点灯/点滅 オレンジ色の点滅/点灯	アイコンが緑色の場合、正常に動作中、点滅は、無線通信中を表します WPS接続処理中/WPS接続処理終了**
ワイヤレス (5GHz)  5G	緑色の点灯/点滅 オレンジ色の点滅/点灯	アイコンが緑色の場合、正常に動作中、点滅は、無線通信中を表します WPS接続処理中/WPS接続処理終了**
WPSボタン・  マーク	無線2.4GHz/5GHz 共用	WPS接続を開始するためのボタンおよびマークです。

\*チャンネルボンディングにて高速インターネット接続されていることを意味します。この機能の使用状況については、ご契約されたケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

\*\*WPS 接続処理が正しく終了した場合、約 5 分間オレンジの点灯を保持し、緑色に戻ります。WPS 接続処理が中断した場合、約2分間オレンジの点滅となり緑色に戻ります。

## 背面パネル



図 2-2: DG6700C 背面

表 2-2: DG6700C 背面パネルのポートとコネクタ

名称と機能		
電源コネクタ		付属のACアダプタで供給される+12VDC電源プラグを接続します。
RFケーブルコネクタ		同軸ケーブルを接続します。
リセットスイッチ		モデムを工場出荷状態に戻して、再起動します。電源がオンの状態で筐体内のプッシュスイッチを細い棒で5秒以上押したままにすることで、実施します。お客様の設定情報は全て削除されますのでご注意ください。
LANポート (ギガビットイーザネットワークポート)		PCのLANポートから接続されたLANケーブルを接続します。緑LEDの点滅は最高1ギガビット/秒のデータ通信が行われていることを表しています。オレンジLEDの点滅は、最高10 または100メガビット/秒のデータ通信が行われていることを表しています。

## DG6700C 製品ラベル



図 2-3: DG6700C 製品ラベルサンプル

DG6700C 製品ラベルは本装置の底面にあります。ご加入中のケーブルテレビ会社へのお問い合わせ時に必要なゲートウェイ ID 情報が記載されています。

インターネット接続サービスについては、ご加入中のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。ゲートウェイラベルに記載の次の情報を求められることがあります。

- ゲートウェイモデル名 (DG6700C)
- ゲートウェイ MAC アドレス (HFC MAC ID)
- ゲートウェイのシリアル番号 (S/N)

## DG6700C の設置する



**注意:** この製品は屋内でのみご利用ください。イーサネットケーブルを屋外に敷設しないでください。ケーブルに落雷すると、安全上の問題が発生し、製品が破損することがあります。

## DG6700C とコンピューターを接続する

DG6700C の設置は、通常ケーブルテレビ会社が行います。以下の確認が事前に必要な場合があります。

- ブロードバンドケーブルサービスが提供されていることをご加入中のケーブルテレビ会社に確認する。

無線ネットワークを設定するには、ご加入中のケーブルテレビ会社が提供する高速インターネット接続が必要です。



**注:** ご加入中のケーブルテレビ会社に問い合わせる際、DG6700C の底部にあるゲートウェイラベルに記載の情報が必要になることがあります（「DG6700C 製品ラベル」、9 ページ）を参照。

- お使いのコンピューターと DG6700C を、既存のケーブルやコンセントの近くに設置できる場所を決定する。

Wi-Fi 接続については、自宅や建物の中心に設置することをおすすめします。



**注:** 次の設置手順は有線のイーサネット接続の手順です。DG6700C が正常に設置され、インターネットに接続されていることを確認してください。

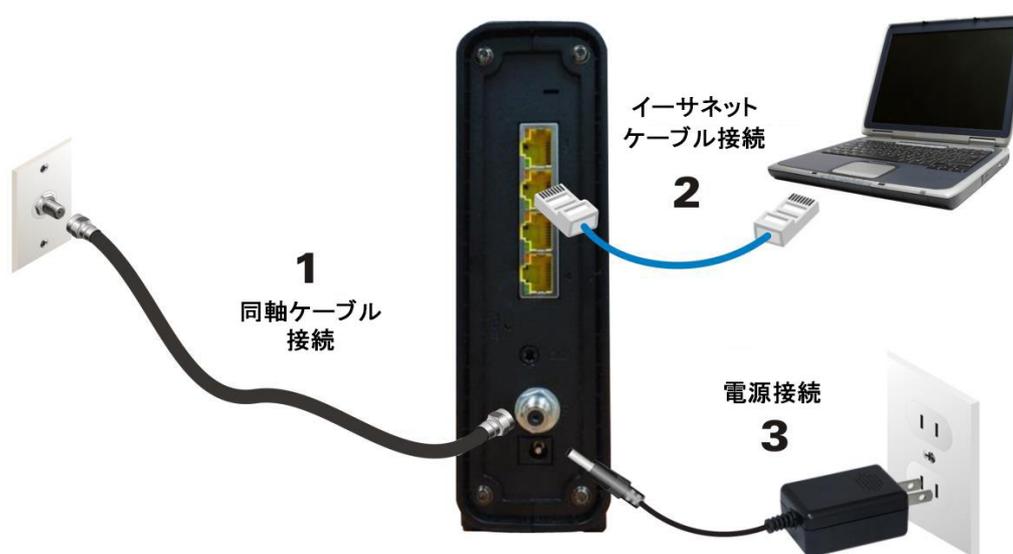


図 3-1: DG6700C 接続図

1. 同軸ケーブルが壁のコンセントや RF スプリッタ (オプション) に接続されていることを確認します。
2. 同軸ケーブルの片端を、DG6700C の RF ケーブルコネクタに接続します。  
コネクタが破損しないように手で締めます。
3. イーサネットケーブルを DG6700C の空きイーサネットポートに接続します。
4. イーサネットケーブルの反対側をコンピューターのイーサネットポートに接続します。
5. オプション: ホームネットワークに有線接続で接続するコンピューターやネットワーク機器が他にもある場合は、手順 3 と 4 を繰り返します。
6. DG6700C の電源コネクタに電源コードを接続します。
7. 電源コードの反対側をコンセントに挿入します。



注: これにより、DG6700C が自動的にオンになります。

## インターネット接続を確立する

お使いのコンピューターがインターネットに自動的にアクセスするよう設定されている場合でも、次の接続テストを実行し、機器が正常に接続されているかどうか確認してください。

1. DG6700C に接続されたコンピューターの電源を入れ (電源がオフの場合) ログインします。
2. DG6700C が設定されると、コンピューターでウェブブラウザ (Internet Explorer、Google Chrome、Firefox、Safari) を開きます。
3. 有効な URL (<http://www.arris.com/consumer>) をアドレスバーに入力し、Enter を押しします。

ARRIS ウェブサイトが開きます。開かない場合は、ご加入中のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

4. DG6700C の前面パネルで電源、受信、送信、オンラインが順番に点灯することを確認します。LED のステータス情報について詳しくは、[製品概要](#) (7 ページ) を参照してください。  
4 つすべての LED が点灯せず、インターネット接続がない場合は、ご加入中のケーブルテレビ会社にお問い合わせのうえ DG6700C の再設定を依頼してください。  
それでもインターネットに接続できない場合は DG6700C が故障している可能性があります。ご加入中のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

## 無線ネットワーク接続を設定する

無線ネットワークを構成する前に、イーサネット接続を使用してコンピューターがインターネットに正常に接続できることを確認しておくことを強くおすすめします。

また、無線ネットワーク接続を設定する前に、自宅のホームネットワーク機器にアクセスできることもご確認ください。さらに、コンピューターと DG6700C がイーサネットで接続されていることを確認してください。

次のいずれかのオプションを選択し、無線ネットワーク接続を設定します。

- [DG6700C クイックスタートウィザードを起動する \(12 ページ\)](#)
- [コンピューターを使用して無線ネットワークを設定する \(18 ページ\)](#)

無線ネットワーク接続を設定後、無線ネットワーク接続が正常に動作することを確認します。詳しくは、[無線ネットワーク接続をテストする \(22 ページ\)](#) を参照してください。

## DG6700C クイックスタートウィザードを起動する

DG6700C クイックスタートウィザードでは、DG6700C のデフォルトの無線ネットワーク設定を 7 つの手順ですばやく構成することができます。無線ネットワーク名 (SSID)、Wi-Fi パスフレーズ (ネットワークパスワード)、ユーザーセキュリティ構成 (DG6700C ウェブマネージャー (GUI) のログイン情報) を設定します。

**重要:** クイックスタートウィザードでは、DG6700C 事前に構成されたデフォルト設定を使用し、ワイヤレスホームネットワークをすばやく設定することができます。ただし、変更できるのは無線ネットワーク名 (SSID) と Wi-Fi パスフレーズ (ネットワークパスワード) だけです。ウィザードを完了し、DG6700C をインターネットに接続すると、その他のネットワーク構成を変更でき、ワイヤレスホームネットワークをカスタマイズしてワイヤレス機器に接続することができます。詳細については、「無線ネットワークを設定する」を参照してください。

1. DG6700C に接続されたコンピューターでウェブブラウザ (Internet Explorer、Google Chrome、Firefox、Safari) を開きます。
2. デフォルトの LAN IP アドレス <http://192.168.100.1> をアドレスバーに入力し、**Enter** を押します。ゲートウェイのログイン画面が開きます。
3. デフォルトのユーザー名とパスワードを入力します。どちらも大文字と小文字を区別します。  
ユーザー名: **admin**  
パスワード: **password**
4. **「ログイン」** をクリックし、DG6700C ウェブマネージャーを開きます。「クイックスタートウィザード起動」画面が開きます。
5. **注:** デフォルトのユーザー名とパスワードが使用できない場合は、ご加入中のケーブルテレビ会社が別のログイン認証情報を設定している可能性があります。ご加入中のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
6. **「クイックスタートウィザード起動」** をクリックし、ウィザードを開きます。



図 4-1: DG6700C クイックスタートウィザードの初期画面



注: このページと、本ユーザーガイドの他のスクリーンショットで表示される ARRIS のロゴは、DG6700C DOCSIS 3.0 ワイヤレスゲートウェイを製造・販売するメーカー ARRIS のロゴです。

「ようこそ」画面が開きます。



図 4-2: DG6700C クイックスタートウィザードのようこそ画面

7. 「次へ」をクリックし、「Wi-Fi ネットワーク名とパスワード」画面に移動します。

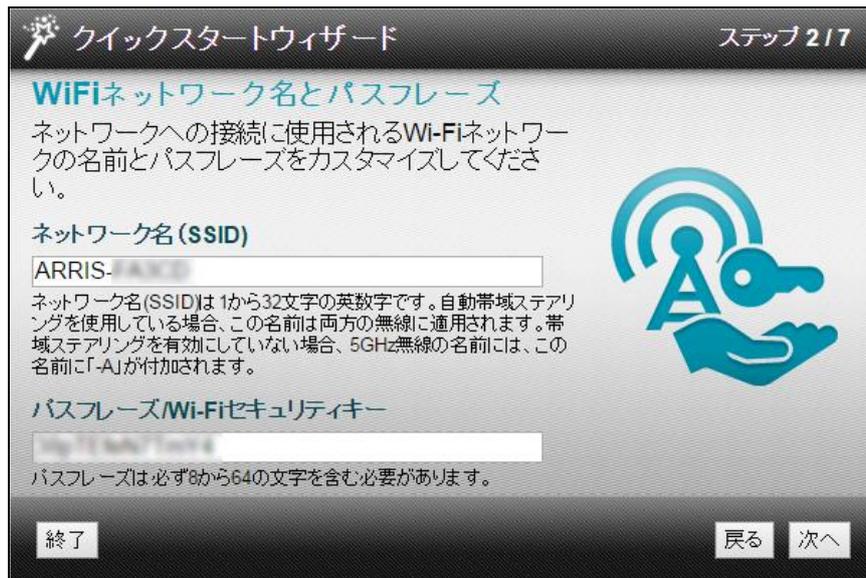


図 4-3: DG6700C クイックスタートウィザード:「ステップ 2/7」画面

8. 次のいずれかを実行し、「ネットワーク名 (SSID)」フィールドに無線ネットワーク名を設定します。
  - a) デフォルトのネットワーク名または SSID (DG6700C ゲートウェイラベルに記載) をそのまま使用する。
  - b) 任意の無線ネットワーク名を入力する。新しいネットワーク名は、1～32 桁の英数文字を使用すること。

5GHz 無線のネットワーク名には、設定したネットワーク名の最後に“-A”が自動的に付加されます。ネットワーク名を最大の 32 文字とした場合、最後の 2 文字が“-A”に置き換わります。

**i** **注:** 初期の無線ネットワーク接続を完了後、無線ネットワーク名 (SSID) をカスタマイズできます。ただし、DG6700C の初期設置には、製品ラベルに記載のデフォルト SSID を使用する必要があります。詳しくは、[無線ネットワーク名 \(SSID\) を変更する](#) (41 ページ) を参照してください。
9. 次のいずれかを実行し、「パスワード/Wi-Fi セキュリティキー」フィールドに無線ネットワークパスワードを設定します。
  - a) デフォルトのパスワード (DG6700C ゲートウェイラベルに記載) をそのまま使用する。
  - b) 任意のパスワードを入力する。

パスワードは、無線ネットワークのサインオン用のアクセスコードです。パスワードは 8～64 桁で作成し、文字、数字、記号を組み合わせる必要があります。

**i** **注:** デフォルトの Wi-Fi セキュリティキーをより安全なワイヤレスパスワードに変更し、無線ネットワークを不正アクセスから保護することを強くおすすめします。詳しくは、[不正アクセスを防ぐ](#) (31 ページ) を参照してください。
10. 「次へ」をクリックし、「2.4GHz & 5GHz ネットワーク」画面を開きます (図 4 を参照)。この画面には、DG6700C で使用可能な 2 つの Wi-Fi 周波数帯域 (2.4 GHz と 5 GHz) が表示されます。Wi-Fi の周波数を変更する手順については、[ワイヤレスチャンネルを変更する](#) (43 ページ) を参照してください。



注:旧式のワイヤレス機器は 5 GHz の周波数に接続できないので、接続性を維持するためには、2.4 GHz の周波数帯域を使用することも有効です。



図 4-4: DG6700C クイックスタートウィザード:「ステップ 3/7」画面  
11. 「次へ」をクリックし、「Wi-Fi セキュリティ構成」画面に移動します。

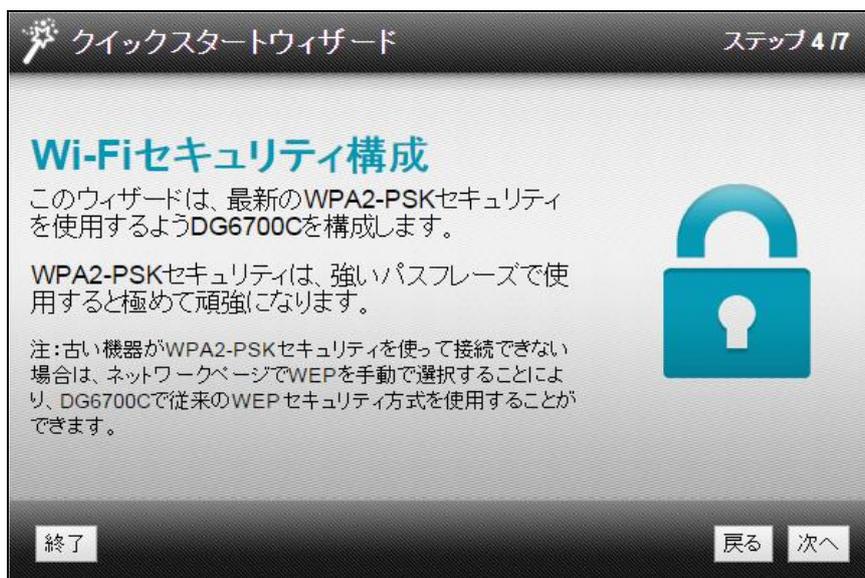


図 4-5: DG6700C クイックスタートウィザード:「ステップ 4/7」画面  
このウィザードは、デフォルトのワイヤレスセキュリティコードとして WPA2-PSK を設定します。ワイヤレスのホームネットワークのワイヤレスセキュリティコードを変更する手順については、[ワイヤレスプライマリネットワークを設定する \(37 ページ\)](#) を参照してください。

12. 「次へ」をクリックし、「ユーザーセキュリティ構成」画面に移動します。

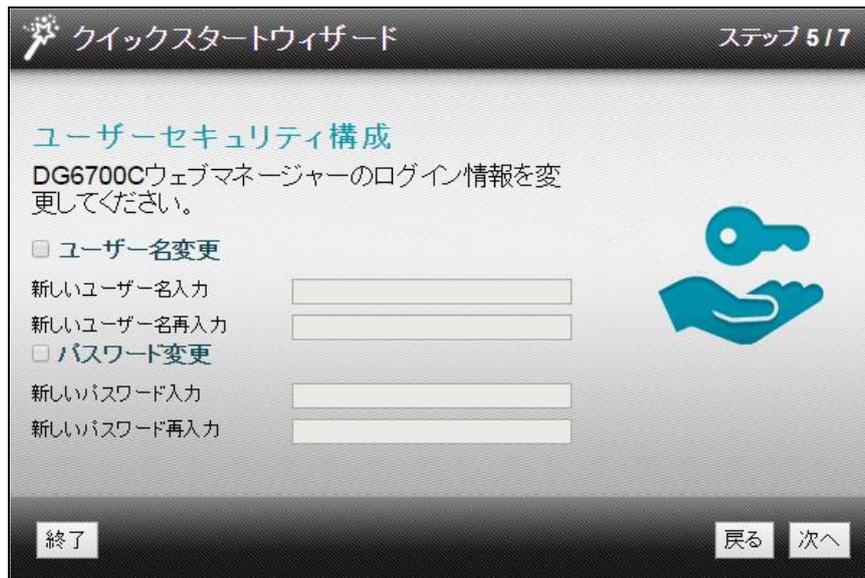


図 4-6: DG6700C クイックスタートウィザード:「ステップ 5/7」画面

このウィザードは、DG6700Cのウェブマネージャーへのログインユーザー名、パスワードを設定します。これらは、必要に応じて変更することができます。デフォルトのユーザー名、パスワードは以下の通りです。(大文字/小文字を区別します。)

- ユーザー名 : admin
- パスワード : password

各項目のボックスにチェックを入れると、フィールドに入力できるようになります。

13. 「次へ」をクリックして「設定確認」画面を開き、無線ネットワーク設定を確認します (図 4-7 を参照)。



図 4-7: DG6700C クイックスタートウィザード:「ステップ 6/7」画面

14. 「適用」をクリックして無線ネットワーク設定を確定して「設定情報確認」画面に移動するか、「戻る」をクリックして前の画面に戻り、無線ネットワーク名やパスワードを変更します。

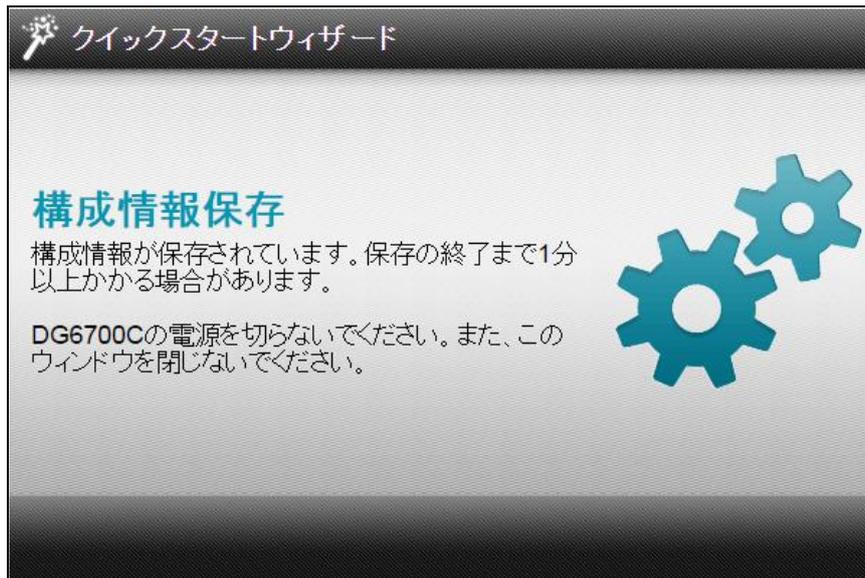


図 4-8: DG6700C クイックスタートウィザード:「構成情報保存」画面

無線ネットワーク設定が保存されるまで待ちます。保存されると、「設定の適用」画面が開きます。

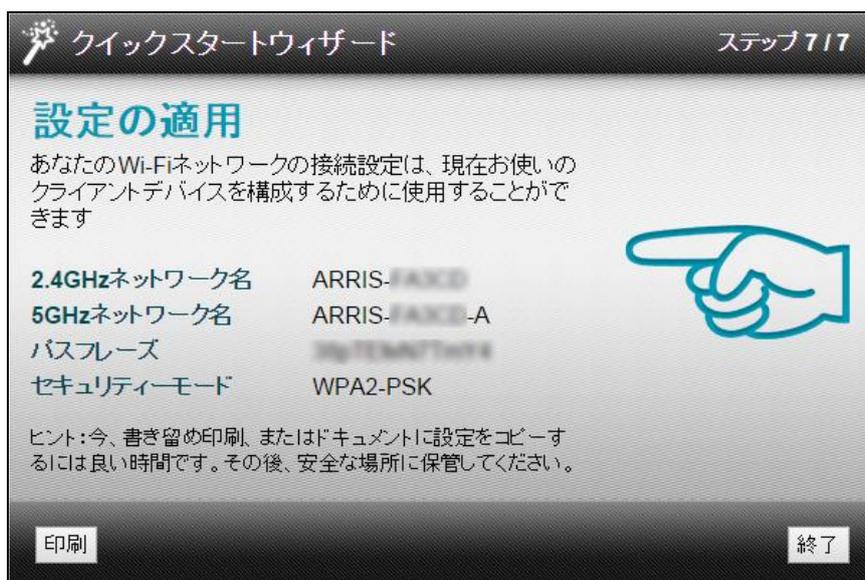


図 4-9: DG6700C クイックスタートウィザード:「ステップ 7/7」画面

- 「設定の適用」画面で「終了」をクリックします。



**注:**「印刷」をクリックすると、無線ネットワーク設定をプリンタへ出力し、無線ネットワークのログインや、無線ネットワーク設定の変更に使用できます。

## コンピューター(PC)の無線インターフェイスを設定する

次のいずれかのオプションを使用し、無線インターフェイスを設定します。

- Windows のタスクバーを使用してクイック接続する (18 ページ)
- Windows のコントロールパネルを使用して接続する (20 ページ)



**注:** 無線ネットワークを設定する手順は、コンピューターの Windows オペレーティングシステムのバージョンによって少しずつ異なります。ここでは Windows 7 の手順を説明します。

### Windows のタスクバーを使用してクイック接続する

1. Windows タスクバーでワイヤレスリンクのアイコンをクリックし、使用可能な無線ネットワークのリストを開きます。
2. アイコンが表示されない場合は、「隠れているインジケータを表示します」ボタンをクリックします (以下の図を参照)。



図 4-10: Windows タスクバーのアイコン



図 4-11: 使用可能な無線ネットワークの画面 (例)

3. DG6700C 無線ネットワーク名 (SSID) を、使用可能な無線ネットワークのリストから探してクリックします。

デフォルト SSID は、DG6700C 底部のゲートウェイラベルに記載されています。



**注:** 初期の無線ネットワーク接続を完了後、無線ネットワーク名 (SSID) をカスタマイズできます。ただし、ゲートウェイの初期設置には、ゲートウェイラベルに記載のデフォルト SSID を使用する必要があります。詳しくは、[無線ネットワーク名 \(SSID\) を変更する](#) (41 ページ) を参照してください。

4. ログオン時に、ワイヤレス機器がホームネットワークに自動的に接続するよう設定するには、「自動的に接続する」を選択します。次に「接続」をクリックし、「ネットワークに接続」ウィンドウを開きます (図 4-12 を参照)。

5. 無線ネットワークのパスフレーズを、「**セキュリティキー**」フィールドに入力します。

DG6700C ゲートウェイラベルに記載の **Wi-Fi パスフレーズ** を使用することも、独自の無線ネットワークパスワードを設定することもできます。

**注:** 安全性の高いパスワードを作成する必要があるため、文字、数字、記号を組み合わせてください。詳しくは、[不正アクセスを防ぐ](#) (31 ページ) を参照してください。

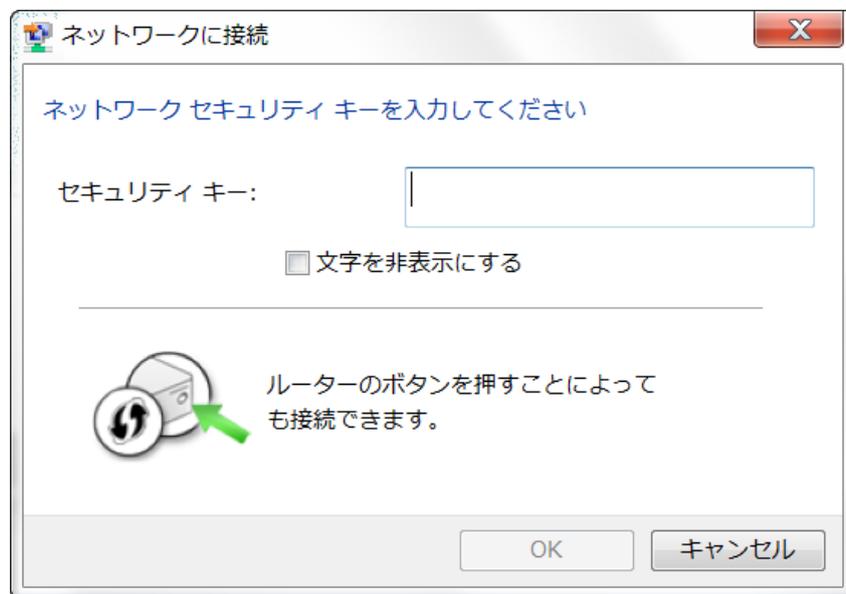


図 4-12: 「ネットワークに接続」ウィンドウ

6. 「**文字を非表示にする**」を選択し、「OK」をクリックしてネットワークセキュリティキー (ネットワークパスワード) を暗号化 (または非表示に) します。

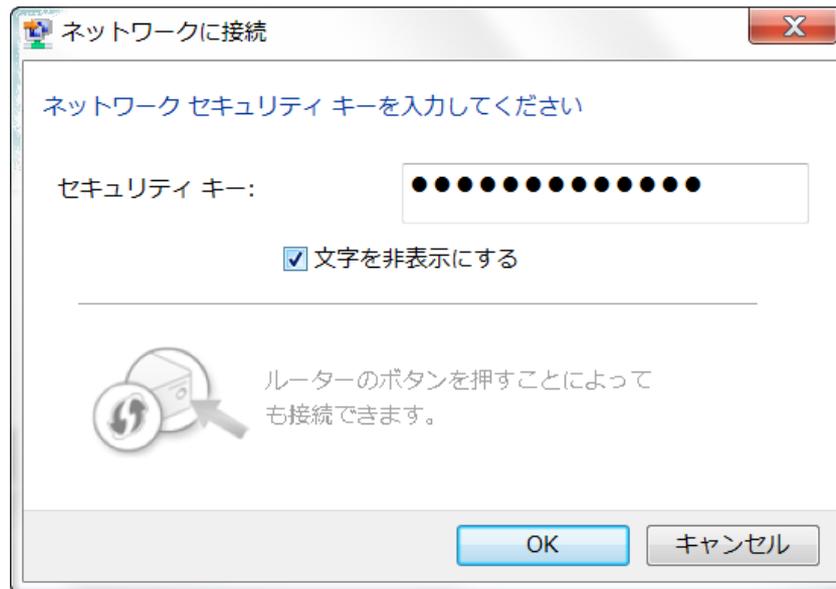


図 4-13: 「ネットワークに接続」のネットワークパスワードの作成画面

## Windows のコントロールパネルから接続する

1. Windows タスクバーで「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「ネットワークと共有センター」をクリックし、「ネットワークと共有センター」ウィンドウを開きます。



図 4-14: 「コントロールパネル - ネットワークと共有センター」ウィンドウ

3. コントロールパネルの「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックし、「ワイヤレスネットワークの管理」ウィンドウを開きます。
4. 「追加」をクリックし「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」ウィンドウを開きます。

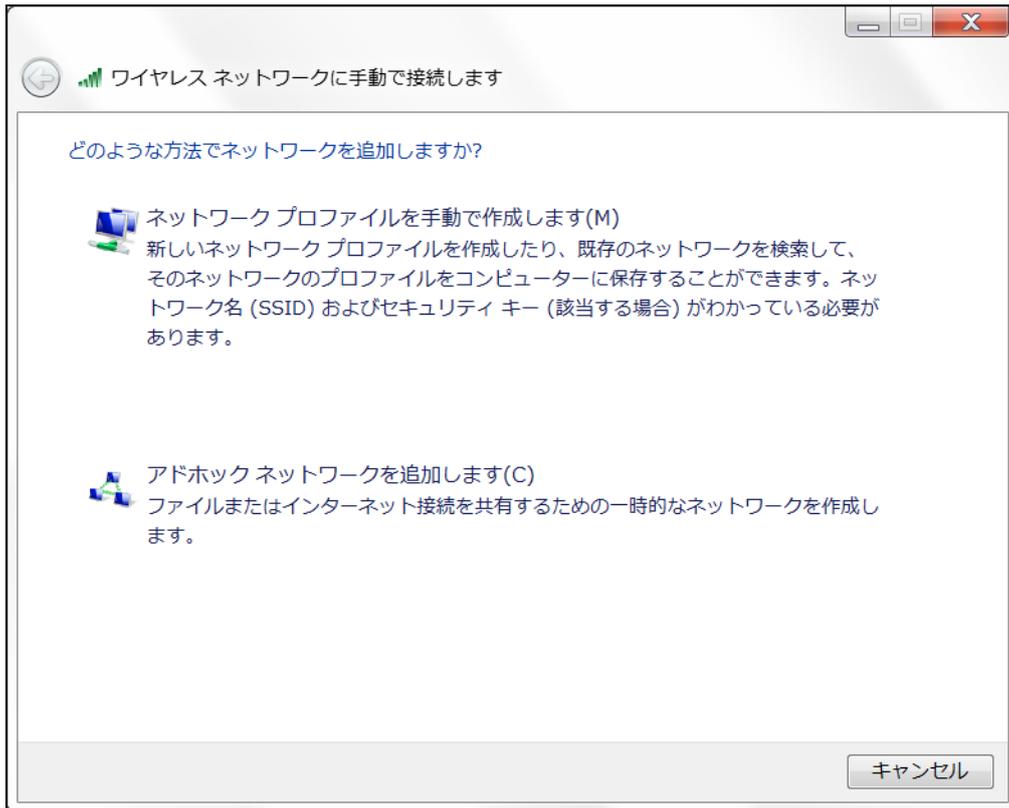


図 4-15: 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」ウィンドウ

5. 「ネットワークプロファイルを手動で作成します」をクリックすると、別の「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」ウィンドウが開きます。

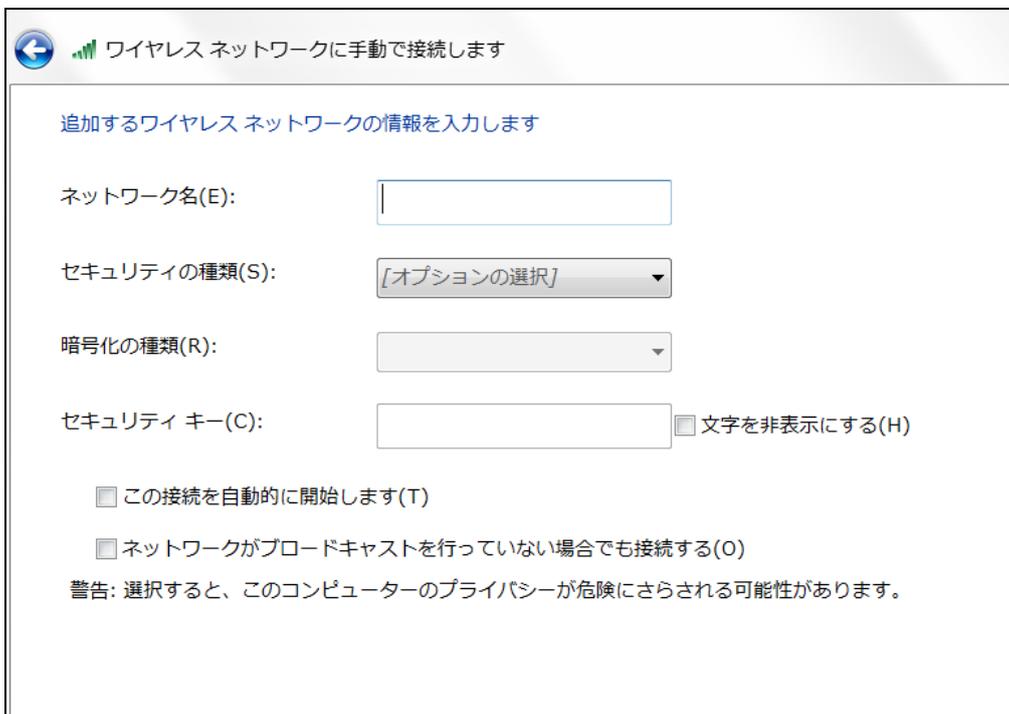


図 4-16: 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」ウィンドウ

6. DG6700C 無線ネットワーク名 (SSID (DG6700C-#####)) を「**ネットワーク名**」フィールドに入力します。
7. SSID 名は、DG6700C 底部のゲートウェイラベルに記載されています。
8. **注:** 初期の無線ネットワーク接続を完了後、無線ネットワーク名 (SSID) をカスタマイズできます。ただし、ゲートウェイの初期設置には、ゲートウェイラベルに記載のデフォルト SSID を使用する必要があります。詳しくは、[無線ネットワーク名 \(SSID\) を変更する](#) (41 ページ) を参照してください。
9. 無線ネットワークのワイヤレスセキュリティレベルを「**セキュリティの種類**」ドロップダウンリストから選択します。
10. **注:** 最高のセキュリティレベルである「WPA2-パーソナル」を選択してください。これは DG6700C のデフォルトのセキュリティレベルです。
11. パスワードの暗号化の種類を「**暗号化の種類**」ドロップダウンリストから選択します。これは無線ネットワークをセキュリティ保護するためです。  
TKIP – Temporal Key Integrity Protocol  
AES – Advanced Encryption Standard (推奨)。DG6700C のデフォルトの暗号化の種類は AES です。
12. **セキュリティコード**または無線パスフレーズを「**セキュリティキー**」フィールドに入力します。  
DG6700C ゲートウェイラベルに記載の **Wi-Fi パスフレーズ**を使用することも、独自のパスフレーズを設定することもできます。  
**注:** 安全性の高いパスワードを作成する必要があるため、文字、数字、記号を一意に組み合わせてください。詳しくは、[不正アクセスを防ぐ](#) (31 ページ) を参照してください。
13. パスフレーズがフィールドに表示されないよう、「**文字を非表示にする**」を選択します。
14. ログオン時にワイヤレス機器が無線ネットワークに自動的に接続されるよう、「**この接続を自動的に開始します**」を選択します。
15. 「**次へ**」をクリックし、無線ネットワークの設定を完了します。  
新たに作成した無線ネットワークの「正常に <ネットワーク名> を追加しました」メッセージが表示されます。
16. 「閉じる」をクリックして終了します。

## 無線ネットワーク接続をテストする

次の接続テストを実行し、DG6700C やその他のワイヤレス機器が、ワイヤレスのホームネットワークに接続されていることを確認してください。

1. 無線ネットワークにコンピューターが接続されている場合は、コンピューターからイーサネットケーブルを抜き DG6700C との有線による接続を切断します。
2. コンピューターでウェブブラウザを開きます。
3. 有効な URL (例: <http://www.arris.com/consumer>) をアドレスバーに入力してクリックするか、**Enter** を押します。
4. ウェブサイトが開かない場合は、ご加入中のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

## DG6700C と接続済みネットワークを管理する

DG6700C ウェブマネージャーを使用し、ゲートウェイの構成情報と動作状況の表示と監視を行えます。また、ネットワーク接続やワイヤレスセキュリティ設定も指定できます。詳しくは、[無線ネットワークを保護、監視する](#) (31 ページ) を参照してください。



**注:**いくつかの構成パラメータは誤って変更しないように、ご加入中のケーブルテレビ会社が設定を制限している場合があります。

## DG6700C ウェブマネージャーを起動する



**注:**DG6700C ウェブマネージャーへの初回ログイン時には、デフォルトのユーザー名とパスワード (下記に記載) を使用する必要があります。ネットワークセキュリティを高めるために、DG6700C への初回ログイン後はデフォルトユーザー名とパスワードを変更することを強くおすすめします。詳しくは、[デフォルトユーザー名とパスワードを変更する](#) (31 ページ) を参照してください。

1. DG6700C に接続されたコンピューターでウェブブラウザを開きます。
2. アドレスバーに IP アドレス `http://192.168.100.1` を入力し、**Enter** を押します。「ログイン」画面が開きます。
3. デフォルトのユーザー名とパスワードを入力します。どちらも大文字と小文字を区別します。  
ユーザー名: **admin**  
パスワード: **password**
4. 「**ログイン**」をクリックし、DG6700C ウェブマネージャーを開きます。DG6700C のメイン画面が開きます。

**注:**デフォルトのユーザー名とパスワードが使用できない場合は、ご加入中のケーブルテレビ会社が別のログイン認証情報を設定している可能性があります。ご加入中のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。



図 5-1: DG6700C のメイン画面

## DG6700C ウェブマネージャのメニュー

### メインメニューボタン

DG6700C のメインメニューのボタンは、DG6700C ウェブマネージャ画面の上部に並んで表示されます。ドロップダウンのサブメニューオプションを表示するには、メニューボタンをクリックします。



## メインメニューのリンク

DG6700C のメインメニューと関連するサブメニューオプションのリンクも、DG6700C ウェブマネージャー画面の下部に表示されます。サブメニューオプションを開くには、リンクをクリックします。



図 5-2: DG6700C ウェブマネージャーのメインメニューのリンク

表 5-1: DG6700C ウェブマネージャーのメインメニューのオプション

メニュー オプション	機能
ホーム	クイックスタートウィザードのメイン画面を開きます。
ステータス	DG6700Cのハードウェアとソフトウェアに関する情報、HFC MAC アドレス、DG6700C IP アドレス、シリアル番号、関連情報を表示します。 他の画面には診断ツールがあります。DG6700Cのユーザー名とパスワードを変更することができます。
基本	ネットワーク構成、WAN 接続種別、DHCP、DDNS など、DG6700Cの IP 関連の構成データを設定します。
詳細	DG6700C で IP トラフィックをルーティングする方法を設定し、トラフィックを管理、インターネットプロトコルを管理します。
ワイヤレス	DG6700Cのワイヤレスネットワーク機能を設定、および管理します。
ファイアウォール	DG6700Cのファイアウォールを設定します。
ヘルプ	ホームネットワークの設定に役立つ総合的な情報を提供します。
ログアウト	DG6700C ウェブマネージャーを閉じます。

## ヘルプを利用する

DG6700C ウェブマネージャーの機能についてヘルプ情報を表示するには、以下の 3 つのオプションのうちいずれを使用できます。総合的なヘルプ情報については、DG6700C メニューオプションの各ページの「ヘルプ」ボタンをクリックします。

- [ヘルプ - 概要](#) (26 ページ)
- [ヘルプリンク](#) (26 ページ)
- [フィールドレベルのヘルプ](#) (27 ページ)

## ヘルプ - 概要

総合的なヘルプについては、DG6700C メインメニューの「ヘルプ - 概要」をクリックします。

ホーム	ステータス	基本	詳細	ワイヤレス	ファイアウォール	ヘルプ
						ヘルプ
						概要
						この機器について

### ヘルプ - 概要

**1. 本装置について**

ここでは、本装置の基本的な機能を説明します。本装置、ARRIS Touchstone® DG6700C (以下 DG6700C) は、ワイヤレスゲートウェイと呼ばれ、それぞれの住宅ごとに安全に管理できるホームネットワークを有線および無線接続により構成し、ケーブルテレビ用の同軸ケーブルを経由してインターネットへの接続をホームネットワークに接続されたパソコン、スマートフォンなどの住宅内の機器に提供します。

機器をネットワークに接続する方法には、有線と無線の2つの方法があり、どちらにも長所と短所がありますが、DG6700C では、IEEE802.11ac 高速無線LAN技術を導入することにより、より高速で安定した無線接続をご利用頂けます。

**(1) 有線接続**

LANケーブルを使用して機器を接続する有線接続 (イーサネットとも呼ばれる) は、取り付けが容易で、最速のデータ転送を提供します。ただし、接続される機器はDG6700Cの近くに設置するか、機器を適切にケーブルでつなげなければなりません。また、使用中は簡単に機器を移動することはできません。

有線を使用して機器を接続できる場合は、まずは、イーサネットが選択肢です。LANケーブルを使用して機器を接続するには、ケーブルの一端をDG6700Cに差し込み、もう一端を接続する機器に差し込みます。これで設置は終わりです。DG6700Cでの設定の変更は必要なく、おそらく接続機器の設定に変更を加える必要もありません。

図 5-3: 「ヘルプ - 概要」画面

## ヘルプ - この機器について

DG6700C のメインメニューで「ヘルプ - この機器について」をクリックすると、DG6700C 構成情報の簡単なリストとともに、該当するリンクが表示されます。リンクをクリックすると、関連する構成画面が表示されます。



図 5-4: 「ヘルプ - この機器について」画面

## 入力項目でのヘルプ

ウェブマネージャーでは、それぞれの項目の具体的なヘルプ情報を提供しています。該当するフィールドの右側の「ヘルプ」ボタンをクリックしてください (以下のサンプルのスクリーンショットを参照)。



## DG6700C 製品情報を表示する

「ステータス - 製品情報」画面には、主要な製品情報が表示されます。これには、ソフトウェア（またはファームウェア）バージョンや、DG6700C の現在のネットワーク接続状態などがあります。

「ステータス - 製品情報」ページを表示するには：

1. DG6700C のメインメニューで「**ステータス**」をクリックします。
2. 「ステータス」サブメニューオプションから「**製品情報**」をクリックします。
3. ウェブブラウザの「**再読み込み**」ボタン (F5) をクリックし、画面に情報を再度読み込みます。

情報	
仕様規格対応状況	DOCSIS 3.0
ハードウェアバージョン	1
ソフトウェアバージョン	D30GW-FISHOWL-1.5.0.1-LAB-06-NOSH
ケーブル モデム MAC アドレス	44:e1:37:ff:a3:cd
シリアル番号	F9FBWG232200070
状態	
連続稼働時間	0 days 00h:32m:41s
ケーブルモデムIPアドレス	-----

図 5-5: DG6700C「ステータス - 製品情報」画面

## DG6700C 構成情報をバックアップする

現在の DG6700C 構成情報のバックアップコピーを、ローカルコンピューターに保存できます。構成に変更を加えたが、元に戻したい場合は、バックアップファイルを使用してカスタム DG6700C 設定を復元できます。



**注意:** DG6700C 構成情報のバックアップは、DG6700C のデフォルトのログインユーザー名とパスワードを使用して実行することを強くおすすめします。

DG6700C 設定のバックアップコピーを作成するには：

1. DG6700C のメインメニューで「**基本**」をクリックします。
2. 「基本」サブメニューオプションで「**バックアップと復元**」をクリックします。

バックアップ/復元	
ファイルを選択	選択されていません
復元	▶ ヘルプ
バックアップ	

図 5-6: DG6700C「バックアップと復元」画面

3. 「バックアップ」をクリックし、「保存」を選択します。メッセージで「OK」をクリックします。
4. 「保存」をクリックし、DG6700C 構成情報バックアップファイルを作成します。ダウンロードが成功したことを示すメッセージが表示されます。



注: **GatewaySettings.bin** は、DG6700C 構成情報バックアップファイルのデフォルトファイル名です。

5. 「ダウンロードの表示」をクリックすると、コンピューターの「ダウンロード」フォルダに保存された DG6700C 構成情報バックアップファイルのリストが表示されます。

## 構成情報を復元する



警告！この操作を実行すると現在の構成情報が削除され、以前に保存された構成が復元されます。



注: 構成情報が復元されると、ワイヤレスケーブルモデム DG6700C は自動的にリブートします。デフォルトのユーザー名 (admin) とパスワード (password) を使用してログオンしてください。

1. DG6700C のメインメニューで「基本」をクリックします。
2. 「基本」サブメニューオプションで「バックアップと復元」をクリックします。
3. 「参照」をクリックすると、以前コンピューターの「ダウンロード」フォルダに保存した構成ファイルを検索できます。
4. 「復元」をクリックします。ワイヤレスケーブルモデム DG6700C は自動的にリブートします。

## 構成情報をリセットする



警告！この手順を実行すると、お客様が設定した DG6700C 構成がすべて削除される可能性があります。DG6700C をリセットする前に、構成のバックアップコピーを作成しておくことをおすすめします。詳しくは、[DG6700C 構成をバックアップする](#) (28 ページ) を参照してください。

DG6700C ウェブマネージャーで、次のいずれかの手順を実行して「ステータス - セキュリティ」画面を開きます。

1. DG6700C のメインメニューで「ステータス」をクリックします。
2. 「ステータス」サブメニューオプションから「セキュリティ」をクリックします。

図 5-7: 「工場出荷時設定へ戻す」画面

3. 「工場出荷時設定へ戻す」で「はい」を選択します。
4. 「適用」をクリックすると、デフォルトのユーザー名とパスワードがリセットされ、初期構成に戻ります。  
「この操作は機器を工場出荷時設定に戻します。適用するには、電源コネクタをゆっくり抜き差しして、モデムをリポートしてください」メッセージが表示されます。
5. 「OK」をクリックします。
6. DG6700C のメインメニューで「ステータス」をクリックします。
7. 「ステータス」サブメニューオプションで「DOCSIS 構成」をクリックし、「ステータス - 構成」画面を開きます。
8. 「リポート」をクリックします。
9. デフォルトのユーザー名とパスワードを使用してもう一度ログインします。  
ユーザー名: **admin**  
パスワード: **password**

## DG6700C ウェブマネージャーを終了する

DG6700C ウェブマネージャーからログアウトし、終了するには:

- DG6700C のメインメニューの右上隅にある「Logout」をクリックします。

## ネットワークを保護、管理する

DG6700C とワイヤレス機器が正常に接続されたら、ネットワークの範囲内で、ネットワークが他のワイヤレス機器から不正アクセスされないよう、DG6700C を設定する必要があります。DG6700C の基本的なセキュリティは既に設定されていますが、DG6700C ウェブマネージャーを使用してセキュリティの詳細やアクセスのレベルをお客様のネットワークに合わせて調整することができます。

### 不正アクセスを回避する



**注意:** 無線ネットワークへの不正アクセスや構成を回避するために、インターネットに接続し、DG6700C に初めてログオンした直後にデフォルトユーザー名とパスワードを変更するよう強くおすすめします。

ワイヤレスホームネットワークをセキュリティ保護するうえで重要なのは、DG6700C や他のワイヤレス機器のデフォルト管理者パスワードを変更することです。デフォルトパスワードは、インターネットで使用され、お客様の間で共有されています。

ワイヤレスホームネットワークをセキュリティ保護するため、ユーザーパスワードに関して次の事項に従ってください。

- 簡単に類推できない、安全なパスワードやパスフレーズを使用する。
- 覚えやすいよう、名前ではなくフレーズ(複数の語からなる句)を使用する。
- 大文字と小文字、数字、記号の組み合わせを使用する。
- 管理者パスワードを定期的に変更する。



**注:** ご加入中のケーブルテレビ会社から DG6700C を供給された場合は、ログインのユーザー名を変更するために必要なユーザー権限がないことがあります。

### デフォルトのユーザー名とパスワードを変更する

デフォルトユーザー名を変更するには:

1. DG6700C に接続されたコンピューターでウェブブラウザを起動し、DG6700C にログインします。
2. DG6700C ウェブマネージャーの IP アドレス (<http://192.168.100.1>) をアドレスバーに入力し、**Enter** を押します。「ログイン」画面が開きます。
3. 次に示すデフォルトのユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名: **admin**  
パスワード: **password**
4. 「**ログイン**」をクリックし、DG6700C ウェブマネージャーを開きます。「ステータス - 接続状態」画面が開きます。
5. 「ステータス」メニューボタンに続いて「セキュリティ」をクリックし、「ステータス - セキュリティ」画面を表示します。
6. ドロップダウンボックスに「ユーザー名変更」があることを確認します。

7. フィールドに入力します。次の点に注意してください。

すべてのフィールド（「現在のユーザー名入力」、「現在のパスワード入力」など）は大文字と小文字を区別します。

注: 初回ログイン時の現在のユーザー名は admin、現在のパスワードは password です。「工場出荷時設定へ戻す」で「いいえ」が選択されていることを確認します。

ユーザー名変更 ▼

ユーザー名変更

現在のユーザー名入力

現在のパスワード入力

新しいユーザー名入力

新しいユーザー名再入力

適用

工場出荷時設定へ戻す

はい  いいえ

適用

図 6-1: 「ユーザー名変更」画面

8. 「適用」をクリックし、ユーザー名を更新します。
9. 「ユーザー名変更」ドロップダウン矢印をクリックし、「パスワード変更」を表示します。

パスワード変更 ▼

ユーザー パスワード変更

現在のユーザー名入力

現在のパスワード入力

新しいパスワード入力

新しいパスワード再入力

適用

工場出荷時設定へ戻す

はい  いいえ

適用

図 6-2: 「ユーザーパスワード変更」画面

10. フィールドに入力します。次の点に注意してください。
  - すべてのフィールドは大文字と小文字を区別します。
  - ユーザー名を変更した場合は、それが新しいユーザー名になります。
  - 「工場出荷時設定へ戻す」で「いいえ」が選択されていることを確認します。
  - 新しいユーザー名とパスワードをメモし、安全な場所に保管します。
11. 「適用」をクリックし、パスワードを更新します。

## ファイアウォールを設定する

ワイヤレスホームネットワークのファイアウォールフィルタを設定できます。詳しくは、[保護レベル \(60 ページ\)](#) を参照してください。

ファイアウォール保護レベルを設定するには:

1. 任意の画面で「ファイアウォール - 保護レベル」メニューをクリックするか、DG6700C メインメニューの「ファイアウォール」ボタンをクリックし、「保護レベル」を選択します。



図 6-3: 「ファイアウォール - 保護レベル」画面

2. 「ファイアウォール保護レベル設定」ドロップダウンボタンをクリックし、ファイアウォール保護レベルを選択します。

可能な値:

- オフ
- 低 (デフォルト)
- 中
- 高



注:「オフ」を選択すると、ホームネットワークのファイアウォール保護が無効になります。コンピューターも、ネットワーク上のイーサネット対応機器も、ウイルスやハッカーの攻撃を受けるリスクがあります。

3. ファイアウォールに対して設定するウェブフィルターを選択し、「適用」をクリックします。

## ポートフォワーディングを設定する

ポートフォワーディングを使用すると、ホームネットワーク (LAN) 上のコンピューターやその他のネットワーク機器が、インターネット接続されたコンピューターや他のリモートネットワーク機器にアクセスできるようになります。これにより、LAN 上のファイアウォールの背後にある特定のポートが開き、自分のコンピューターとその他のリモートコンピューター間だけの固有の接続を設定でき、オンラインゲームなどのオンラインサービスに利用できます。許可されているサービスの一部が「一般的に転送されたポート」にあらかじめ定義されています。一般的に使われているポート番号のリストについては、図 6-5 を参照してください。



注:リモートアクセスを設定しているコンピューターで、次の TCP/IP 設定を手動で構成することをおすすめします。構成しなければ、コンピューターのリモートアクセスをインターネットで使用できません。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNS アドレス (少なくとも 1 つ)

ポートフォワーディングを設定するには:

1. DG6700C メインメニューバーで「詳細」をクリックします。
2. 「詳細」サブメニューオプションから「ポートフォワーディング」をクリックします。
3. 注:ポートをマッピングするには、ローカル的に転送するポート番号の範囲と、これらのポートにトラフィックを送信するための IP アドレスを入力します。単一ポート指定しか行わない場合は、その IP アドレスに対して開始ポートと終了ポートを同じ番号に設定します。

IPv4 エントリー					
外部IPアドレス & スタート/エンドポート	ローカルIPアドレス & スタート/エンドポート	説明	プロトコル	有効	
0.0.0.0 0 0	0.0.0.0 0 0		TCP ▼	オフ ▼	
<small>0.0.0.0は、インターネット上の任意のデバイスからのパケットは、設定されたポートに転送されることを可能にするデフォルト値(IPアドレス)である</small>					
一般的に転送されたポート ▼					
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>					
ポートフォワーディング					
外部IPアドレス & スタート/エンドポート	ローカルIPアドレス & スタート/エンドポート	説明	プロトコル	転送	全て削除

図 6-4: 「詳細 - ポートフォワーディング」画面

4. 次のいずれかを実行し、外部 IP アドレスを設定します。

「外部 IP アドレス」フィールドで IP アドレスを 0.0.0.0 に設定し、「スタートポート」フィールドにポート番号を入力します。「エンドポート」フィールドにも同じポート番号を入力します。「一般的に転送されたポート」ドロップダウンリストから特定のポートを選択します（「一般的に転送されたポート」ドロップダウンリストから特定のポートを選択します。リストについては図 6-5 を参照してください）。

これにより、リモート IP アドレスからの着信データトラフィックを、指定ポートで受信できるようになります。

「外部 IP アドレス」フィールドに特定のリモート IP アドレスを入力し、「スタートポート」と「エンドポート」フィールドに特定のポート番号を入力します（「一般的に転送されたポート」ドロップダウンリストから特定のポートを選択します。リストについては図 6-5 を参照してください）。

これにより、指定したリモート IP アドレスからの着信データトラフィックを、指定ポートで受信できるようになります。

**注:**ポート範囲を転送するには、「スタートポート」フィールドにポート範囲の最初の番号を入力し、「エンドポート」フィールドにポート範囲の最後の番号を入力します。

5. 次のいずれかを実行し、ローカル IP アドレスを設定します。

1. ポートフォワーディングを設定するローカルコンピューターの IP アドレスを入力します。

2. 「スタートポート」フィールドに、任意のポート番号を入力します。「エンドポート」フィールドにも同じポート番号を入力します。「一般的に転送されたポート」ドロップダウンリストから特定のポートを選択します（「一般的に転送されたポート」ドロップダウンリストから特定のポートを選択します。リストについては図 6-5 を参照してください）。

6. **注:**ポート範囲を転送するには、「ローカルスタートポート」フィールドにポート範囲の最初の番号を入力し、「ローカルエンドポート」フィールドにポート範囲の最後の番号を入力します。

説明を入力し、転送されたポートに名前を付けます。

「インターネットプロトコル」ドロップダウンリストから「TCP」、「UDP」、または「両方」を選択します。

「オン」を選択して IP ポートトリガーを有効にするか、「オフ」を選択にして無効にします。

7. 「適用」をクリックします。

一般的に転送されたポート	
Battle.net.....6112 / TCP	Playstation 3.....80 / TCP
BitTorrent.....6881-6999 / 両方	Playstation 3.....3478 / UDP
Call of Duty.....28960 / UDP	Playstation 3.....443 / TCP
eMule.....4662 / TCP	Playstation 3.....3479 / UDP
eMule.....4672 / UDP	Playstation 3.....5223 / TCP
GameSpy Arcade.....6500 / TCP	Playstation 3.....3658 / UDP
Gnutella.....6346-6347 / 両方	Quicktime.....6970 / UDP
Half-Life.....27015 / 両方	Second Life.....12035-12036 / UDP
Halo.....2302 / UDP	Slingbox.....5001 / UDP
Internet Radio.....8000 / 両方	Steam.....1725 / UDP
IRC.....6665-6669 / TCP	Steam Friends.....1200 / UDP
MS Media Server.....1755 / 両方	Synergy.....24800 / TCP
Playstation 3.....80 / TCP	TeamSpeak.....8767 / UDP
Playstation 3.....3478 / UDP	Ventrillo.....3784-3785 / 両方
Playstation 3.....443 / TCP	War of Warcraft.....3724 / 両方
Playstation 3.....3479 / UDP	XBOX 360.....80 / TCP
Playstation 3.....5223 / TCP	XBOX 360.....88 / UDP
Playstation 3.....3658 / UDP	XBOX 360.....53 / 両方
Quicktime.....6970 / UDP	XBOX 360.....3074 / 両方
	Yahoo Messenger.....5050 / TCP

図 6-5: 「一般的に転送されたポート」リスト

## DMZ ホストを設定する



**警告!** ゲームの DMZ ホストは、DG6700C ファイアウォールによって保護されていません。インターネットに公開されるので、インターネット上のコンピューターから攻撃やハッキングを受ける可能性があります。機器を DMZ として構成する前に、脆弱性の問題がないことを入念に検討してください。

ホームネットワーク上の 1 台のコンピューターを DMZ ホストとして構成できます。そのコンピューターは DG6700C のファイアウォール外部で動作し、インターネットからコンピューター、ゲーム機、およびその他の IP 対応機器へのリモートアクセスを許可します。DMZ ホスト機能は、外部のユーザーが指定された DMZ ホスト機器にのみアクセスできるようにする機能であり、ホームネットワークへのアクセスは許可しません。詳しくは、[DMZ ホスト](#) (59 ページ) を参照してください。

DMZ ホストを作成するには:

1. DG6700C メインメニューバーで「**詳細**」をクリックします。
2. 「**詳細**」サブメニューオプションから「**DMZ ホスト**」をクリックします。



図 6-6: 「詳細 - DMZ ホスト」画面

3. DMZ ホストとして設定するコンピューターやゲーム機の IP アドレスの末尾 1 桁~3 桁 (2~254) を入力します。
4. 「**適用**」をクリックします。



**注:** アプリケーションの使用終了時には、必ず IP アドレスを 0 (ゼロ) にリセットし、すべてのポートを閉じてください。IP アドレスをリセットしなければ、コンピューターはインターネットに公開されたままになります。

## 無線ネットワークを設定する

DG6700C では、ワイヤレスのホームネットワークで複数のアクセスポイントを安全に設定することができます。来客や友人、その他のご家族がゲストネットワークを使用できるようになりますが、主にお使いになるプライマリネットワークのファイルや他の機器へのアクセス許可を必ずしも与える必要はありません。無線ネットワークに接続するには、パスフレーズを入力する方法か、Wi-Fi Protected Setup(WPS)プッシュボタン方式による接続方法を選ぶことができます。

### ワイヤレスプライマリネットワークを設定する

1. ウェブブラウザを開き、DG6700C にログオンして DG6700C ウェブマネージャーを開きます。詳しくは、[DG6700C のウェブマネージャーを起動する](#) (23 ページ) を参照してください。
2. DG6700C メインメニューバーで「ワイヤレス」をクリックします。
3. 「ワイヤレス」サブメニューオプションで「プライマリ ネットワーク設定」をクリックします。

2.4 GHz		5 GHz	
<b>2.4 GHz Wi-Fi ネットワーク</b> 6C:CA:08:6E:AF:E6			
無線ネットワーク	<input checked="" type="radio"/> 使用可能 <input type="radio"/> 使用禁止	▶ ヘルプ	
ネットワーク名 (SSID)	<input type="text" value="ARRIS-FA3CD"/>	▶ ヘルプ	
ネットワーク名 (SSID)ブロードキャスト	<input checked="" type="radio"/> 使用可能 <input type="radio"/> 使用禁止	▶ ヘルプ	
無線セキュリティ	<input type="text" value="WPA2-PSK + WPA-PSK"/>	▶ ヘルプ	
<b>WPA-PSK+WPA2-PSKセキュリティ設定</b>			
暗号化	<input type="radio"/> AES <input checked="" type="radio"/> AES+TKIP	▶ ヘルプ	
パスフレーズ	<input type="text" value="38pTEfeN7TmY4"/>	▶ ヘルプ	
<b>Wi-Fi Protected Setup (WPS) セキュリティ構成</b>			
WPS	<input checked="" type="radio"/> 使用可能 <input type="radio"/> 使用禁止	▶ ヘルプ	
WPS クライアント追加 (押しボタン方式)	WPSペアリングを開始するためにボタンを5秒以上押し続けてください。		▶ ヘルプ
WPS クライアント追加 (ゲートウェイPIN方式)	<input type="text" value="68071097"/>	<input type="button" value="PINを生成"/>	▶ ヘルプ
外部レジストラによって構成します	<input type="text" value="許可"/>	▶ ヘルプ	
WPS クライアント追加 (クライアントPIN方式)	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	▶ ヘルプ
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>			

図 7-1: 2.4 GHz ワイヤレスの「プライマリ ネットワーク設定」画面

2.4 GHz	5 GHz
<b>5 GHz Wi-Fi ネットワーク</b> 6C:CA:08:6E:AF:E7	
無線ネットワーク	<input checked="" type="radio"/> 使用可能 <input type="radio"/> 使用禁止 <span style="float: right;">▶ ヘルプ</span>
ネットワーク名 (SSID)	<input type="text" value="ARRIS-FA3CD-A"/> <span style="float: right;">▶ ヘルプ</span>
ネットワーク名 (SSID) ブロードキャスト	<input checked="" type="radio"/> 使用可能 <input type="radio"/> 使用禁止 <span style="float: right;">▶ ヘルプ</span>
無線セキュリティ	<input type="text" value="WPA2-PSK + WPA-PSK"/> <span style="float: right;">▶ ヘルプ</span>
<b>WPA-PSK+WPA2-PSKセキュリティ設定</b>	
暗号化	<input type="radio"/> AES <input checked="" type="radio"/> AES+TKIP <span style="float: right;">▶ ヘルプ</span>
パスフレーズ	<input type="text" value="38pTEfeN7mY4"/> <span style="float: right;">▶ ヘルプ</span>
<b>Wi-Fi Protected Setup (WPS) セキュリティ構成</b>	
WPS	<input checked="" type="radio"/> 使用可能 <input type="radio"/> 使用禁止 <span style="float: right;">▶ ヘルプ</span>
WPS クライアント追加 (押しボタン方式)	WPSペアリングを開始するためにボタンを5秒以上押し続けてください。 <span style="float: right;">▶ ヘルプ</span>
WPS クライアント追加 (ゲートウェイPIN方式)	<input type="text" value="68071097"/> <input type="button" value="PIN生成"/> <span style="float: right;">▶ ヘルプ</span>
外部レジストラによって構成します	<input type="text" value="許可"/> <span style="float: right;">▶ ヘルプ</span>
WPS クライアント追加 (クライアントPIN方式)	<input type="text"/> <input type="button" value="追加"/> <span style="float: right;">▶ ヘルプ</span>
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

図 7-2: 5 GHz ワイヤレスの「プライマリ ネットワーク設定」画面

4. 「2.4 GHz」タブか「5 GHz」タブをクリックし、無線ネットワークの周波数帯域を選択します。
5. 「無線ネットワーク」フィールドで「使用可能」か「使用禁止」を選択し、無線ネットワークをオンかオフにします。
6. デフォルトのネットワーク名をそのまま使うか (DG6700C 製品ラベルに記載されています)、ワイヤレスプライマリネットワークの名前を「ネットワーク名 (SSID)」フィールドに入力します。
7. ネットワーク名は、32 文字の ASCII 文字の組み合わせで作成する必要があります。DG6700C の他の SSID と同じものは使用できません。
8. 「ネットワーク名 (SSID) ブロードキャスト」フィールドで「使用可能」か「使用禁止」を選択し、無線ネットワーク外のアクセスをオンかオフにします。
9. 「無線セキュリティ」ドロップダウンリストで、無線ネットワーク向けに次のいずれかの無線ネットワークセキュリティオプションを選択します。
  - a) WPA2-PSK: Wi-Fi Protected Access version 2 with Pre-Shared Key
  - b) WPA2-PSK + WPA-PSK: Wi-Fi Protected Access version 2 with Pre-Shared Key と Wi-Fi Protected Access with Pre-Shared Key の組み合わせ(推奨)
  - c) 暗号化なし: Wi-Fi セキュリティキーを使用せずに無線ネットワークにアクセスできます
  - d) WPA-PSK: Wi-Fi Protected Access with Pre-Shared Key、標準的な暗号化
  - e) WPA2 (Enterprise): Wi-Fi Protected Access version 2 はネットワークセキュリティをさらに強化します。ネットワークへのログオン時にユーザー名とパスワードが必要です。
  - f) WPA2 + WPA (Enterprise): Wi-Fi Protected Access version 2 と Wi-Fi Protected Access はネットワークセキュリティをさらに強化します。ネットワークへのログオン時にユーザー名とパスワードが必要です。
  - g) WPA (Enterprise): Wi-Fi Protected Access はネットワークセキュリティをさらに強化します。ネットワークへのログオン時にユーザー名とパスワードが必要です。
10. 「暗号化」フィールドで無線ネットワークの暗号化の種類を選択します。
  - a) AES – Advanced Encryption Standard: 最も強力な暗号化を提供
  - b) AES+TKIP – Advanced Encryption Standard + Temporal Key Integrity Protocol
  - c) AES および TKIP 対応クライアントのどちらも無線ネットワークに接続できます(推奨)

11. 「パスフレーズ」フィールドに、文字や単語を任意に組み合わせた、ネットワーク用パスワードを入力します。
12. 終了したら「適用」をクリックします。

## 無線ゲストネットワークを設定する



**注:** DG6700C ではこの機能が無効になっている場合があります。ご加入中のケーブルテレビ会社によっては、DB6700C でセカンダリ (またはゲスト) 無線ネットワークを作成することを許可していないことがあるからです。

1. ウェブブラウザを開き、DG6700C にログオンして DG6700C ウェブマネージャーを開きます。詳しくは、[DG6700C のウェブマネージャーを起動する \(23 ページ\)](#) を参照してください。
2. DG6700C メインメニューバーで「ワイヤレス」をクリックします。
3. 「ワイヤレス」サブメニューオプションで「ゲストネットワーク」をクリックします。

2.4 GHz		5 GHz	
2.4 GHz Wi-Fi ネットワーク設定&セキュリティ			
ゲストネットワーク選択	ARRIS_GUEST_0 (6E:CA:08:6E:AF:E7)	▶	ヘルプ
ゲストネットワーク	有効	▶	ヘルプ
ゲストネットワーク名 (SSID)	ARRIS_GUEST_0	▶	ヘルプ
IPネットワーク	ゲスト	▶	ヘルプ
IP アドレス	192.168.200.1	▶	ヘルプ
リースプール開始IPアドレス	192.168.200.10	▶	ヘルプ
リースプール終了IPアドレス	192.168.200.99	▶	ヘルプ
リースタイム	86400	▶	ヘルプ
UPnP 有効	有効		
ファイアウォール 有効	有効		
DHCPv6サーバー	有効		
無線セキュリティ	WPA2-PSK	▶	ヘルプ
<b>WPA2-PSKセキュリティ設定</b>			
暗号化	AES	▶	ヘルプ
パスフレーズ	.....	ショーパスフレーズ	▶
適用		無線設定をデフォルト値に復元	

図 7-3: 2.4 GHz ワイヤレスの「ゲストネットワーク設定」画面

2.4 GHz	5 GHz
<b>5 GHz Wi-Fi ネットワーク設定&amp;セキュリティ</b>	
ゲストネットワーク選択	ARRIS_GUEST_1 (6E:CA:08:6E:AE:E8) ▶ヘルプ
ゲストネットワーク	有効 ▶ヘルプ
ゲストネットワーク名 (SSID)	ARRIS_GUEST_1 ▶ヘルプ
IPネットワーク	ゲスト ▶ヘルプ
IP アドレス	192.168.220.1 ▶ヘルプ
リースプール開始IPアドレス	192.168.220.10 ▶ヘルプ
リースプール終了IPアドレス	192.168.220.99 ▶ヘルプ
リースタイム	86400 ▶ヘルプ
UPnP 有効	有効 ▶ヘルプ
ファイアウォール 有効	有効 ▶ヘルプ
DHCPv6サーバー	有効 ▶ヘルプ
無線セキュリティ	WPA-PSK ▶ヘルプ
<b>WPA-PSKセキュリティ設定</b>	
暗号化	AES ▶ヘルプ
パスフレーズ	..... ショーパスフレーズ ▶ヘルプ
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="無線設定をデフォルト値に復元"/>	

図 7-4: 5 GHz ワイヤレスの「ゲストネットワーク設定」画面

4. 「2.4 GHz」タブか「5 GHz」タブをクリックし、無線ネットワークの周波数帯域を選択します。
5. 「ゲストネットワーク選択」ドロップダウンリストからゲストネットワークを選択します。
6. 「ゲストネットワーク」フィールドで「有効」か「無効」を選択し、無線ゲストネットワークをオンかオフにします。
7. デフォルトのゲストネットワーク名をそのまま使用するか、任意のゲストネットワーク名を「ゲストネットワーク名 (SSID)」フィールドに入力します。
8. 「IP ネットワーク」ドロップダウンリストから「LAN」か「ゲスト」を選択します。
  - a) LAN –プライマリネットワークの一部としてゲストネットワークを構成し、ゲストユーザーがプライマリネットワークに接続することを許可します。
  - b) ゲスト –ゲストネットワークを構成し、特定のネットワークのみにアクセスを許可します。プライマリネットワークへのアクセスは許可しません。
9. 「IP アドレス」フィールドにゲストネットワークの DG6700C の IP アドレスを入力します。  
「ゲストネットワーク選択」で選択されたネットワークに、次の IP アドレスが割り当てられています。
  - デフォルト IP アドレス(2.4GHz): 192.168.200.1 ~ 192.168.206.1
  - デフォルト IP アドレス(2.4GHz): 192.168.220.1 ~ 192.168.226.1
10. 「リースプール開始 IP アドレス」フィールドに、ゲストネットワークのリースプールの開始 IP アドレスを入力します。
11. 「リースプール終了 IP アドレス」フィールドに、ゲストネットワークのリースプールの終了 IP アドレスを入力します。
12. 「リース期間」フィールドに、ゲストネットワークのリースプールのリース期間を入力します。
13. 「UPnP (Universal Plug and Play) 有効」フィールドで「有効」か「無効」を選択し、スマートフォン、タブレット、ゲーム機、プリンタなどのネットワーク機器が無線ホームネットワークに自動的に接続することを許可、または禁止します。

14. 「ファイアウォール 有効」フィールドで「有効」か「無効」を選択し、DG6700C のファイアウォールをオンまたはオフにできます。
15. 「DHCPv6 サーバー」フィールドで「有効」か「無効」を選択し、DHCP サーバーが上記で指定したゲストネットワークのリースプールからゲストネットワーククライアントに、リースを送信できるようにします。
16. **注:** DHCP サーバーが無効な場合は、静的 IP アドレスをゲストネットワークに接続する機器に割り当てる必要があります。
17. 「無線セキュリティ」ドロップダウンリストで、無線ネットワーク向けに次のいずれかの無線ネットワークセキュリティオプションを選択します。
  - a) WPA2-PSK: Wi-Fi Protected Access version 2 with Pre-Shared Key
  - b) WPA2-PSK + WPA-PSK: Wi-Fi Protected Access version 2 with Pre-Shared Key と Wi-Fi Protected Access with Pre-Shared Key の組み合わせ(推奨)
  - c) WPA-PSK: Wi-Fi Protected Access with Pre-Shared Key、標準的な暗号化
  - d) 暗号化なし: ネットワークセキュリティをオフにします。
  - e) WPA2 + WPA (Enterprise): Wi-Fi Protected Access version 2 と Wi-Fi Protected Access はネットワークセキュリティをさらに強化します。ネットワークへのログオン時にユーザー名とパスワードが必要です。
  - f) WPA2 (Enterprise): Wi-Fi Protected Access version 2 はネットワークセキュリティをさらに強化します。ネットワークへのログオン時にユーザー名とパスワードが必要です。
  - g) WPA (Enterprise): Wi-Fi Protected Access はネットワークセキュリティをさらに強化します。ネットワークへのログオン時にユーザー名とパスワードが必要です。
18. 「暗号化」フィールドで無線ネットワークの暗号化の種類を選択します。
  - a) AES – Advanced Encryption Standard: 最も強力な暗号化を提供
  - b) TKIP+AES – Temporal Key Integrity Protocol + Advanced Encryption Standard: AES および TKIP 対応クライアントのどちらも無線ネットワークに接続できます(推奨)
19. 「パスフレーズ」フィールドに、文字や単語を任意に組み合わせた、ゲストネットワーク用パスワードを入力します。
20. セキュリティを保護するため、フィールドにパスワードを表示しないようにするには「パスフレーズ表示」をオンにします。
21. 終了したら「適用」をクリックします。

## 無線ネットワーク名 (SSID) を変更する

SSID (Service Set Identification) は DG6700C の無線プライマリネットワークとゲストネットワークに割り当てられた無線ネットワーク名です。DG6700C 製品ラベルに記載のデフォルト SSID が、ネットワーク構成画面に自動的に反映されています。自宅内の誰かが無線ネットワーク接続を試みると、自宅近辺で使用可能な無線ネットワークの SSID のリスト (隣人や地元のビジネスなど) が表示されます。セキュリティの目的上、および自分の無線ネットワークをすばやく認識できるよう、デフォルト SSID を変更することをおすすめします。また、デフォルトの無線パスワードやパスフレーズを変更することも検討してください (詳しくは、[不正アクセスを回避する](#) (31 ページ) を参照してください)。

**注:** SSID を変更すると、既に無線ネットワークに接続されている無線機器はネットワークから切断されます。無線機器を無線ネットワークに接続し直すには、新しい SSID を使用する必要があります。

無線ネットワーク名または SSID を変更するには、次の手順に従います。

1. ウェブブラウザを開き、DG6700C にログインして DG6700C ウェブマネージャーを開きます。詳しくは、[DG6700C のウェブマネージャーを起動する](#) (23 ページ) を参照してください。
2. DG6700C メインメニューバーで「ワイヤレス」をクリックします。
3. 「ワイヤレス」サブメニューオプションで「プライマリ ネットワーク設定」をクリックし、「Wi-Fi ネットワーク」画面を開きます。



図 7-5: 2.4 GHz ネットワーク名 (SSID) とパスワードの変更画面



7-6: 5 GHz ネットワーク名 (SSID) とパスワードの変更画面図

4. 「2.4 GHz」タブか「5 GHz」タブをクリックし、無線ネットワークの周波数帯域を選択します。
5. ホームネットワークの無線ネットワークをオンにするには、「無線ネットワーク」フィールドで「使用可能」を選択します。
  6. 「ネットワーク名 (SSID)」フィールドで現在のネットワーク名を削除し、無線ネットワークに新しい名前を付けます。
  7. ネットワーク名は、32 文字の英数字の組み合わせで作成する必要があります。
8. 「ネットワーク名 (SSID) ブロードキャスト」フィールドで「使用可能」が選択されていることを確認します。
9. 「パスワード」フィールドで現在の無線パスワード (パスワード) を削除し、無線ネットワークパスワードに新しいパスワードを入力します。

10. 詳しくは、[不正アクセスを防ぐ](#) (31 ページ) を参照してください。

11. 画面下の「適用」をクリックします。

無線機器を接続し直すと、使用可能な無線ネットワークリストに新しい無線ネットワーク名が表示されます。

## 無線チャンネルを変更する

無線ネットワークに接続していると、ネットワーク間で干渉が発生します。これは、他の無線アクセスポイントが DG6700C と同じ無線チャンネルを使用しており、かつ自宅のすぐ近くに設置されているために発生するものです。無線ネットワークに干渉が発生すると、DG6700C の無線チャンネルを変更するとネットワーク接続 (または信号の強度) が改善し、ネットワーク干渉を回避することができます。デフォルトでは、DG6700C は自動チャンネルに設定されています。

DG6700C の無線チャンネルを変更するには、次の手順に従います。

1. ウェブブラウザを開き、DG6700C にログオンして DG6700C ウェブマネージャーを開きます。詳しくは、[DG6700C のウェブマネージャーを起動する](#) (23 ページ) を参照してください。
2. DG6700C メインメニューバーで「ワイヤレス」をクリックします。
3. 「ワイヤレス」サブメニューで「802.11 無線」を選択し、「ワイヤレス - 802.11 無線」画面を開きます。



図 7-7: 2.4 GHz の「ワイヤレス - 802.11 無線」画面



図 7-8: 5 GHz の「ワイヤレス - 802.11 無線」画面

4. 「2.4 GHz」タブか「5 GHz」タブをクリックし、無線ネットワークの周波数帯域を選択します。
5. 「チャンネル」ドロップダウンリストから、「現在のチャンネル」としてリストされているチャンネル番号とは異なるチャンネル番号を選択します。
6. 注: 2.4 GHz Wi-Fi ネットワークの場合は、「現在のチャンネル」としてリストされていない場合はチャンネル 6 または 11 を使用することをおすすめします。Wi-Fi で使用される周波数帯域には重複するチャンネルが複数存在でき、これによって無線ネットワークのパフォーマンスが低下します。チャンネル 1、6、11 は重複しないので、ネットワークのパフォーマンスと安定性を向上するために使用されます。
7. 「適用」をクリックします。

## トラブルシューティングのヒント

この章に記載の解決策を実施しても問題が解決しない場合は、ご加入中のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

前面パネルの LED アイコンとエラー状態 (46 ページ) に記載のとおり、ご加入中のケーブルテレビ会社に LED のステータスを確認するよう依頼されることがあります。

DG6700C が正常に動作していない場合は、DG6700C の構成を工場出荷状態に戻さなければなりません。

## 解決策

表 8-1: トラブルシューティングの解決策

DG6700Cで発生している問題	可能な解決策
電源 LED アイコンが 消灯している	<ul style="list-style-type: none"> <li>DG6700C とコンセントが正常に接続されていることを確認します。</li> <li>コンセントが正常に使えることを確認します。電気スイッチで制御するタイプでしょうか？</li> <li>そうであれば DG6700C の電源コードを抜き、電気スイッチで制御されていないコンセントに挿入し直します。</li> </ul>
データを 送受信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>DG6700C とケーブルアウトレット間で、同軸ケーブルが正常に接続されていることを確認します。必要に応じ、手で締めます。</li> <li>イーサネットケーブルが DG6700C とコンピューター間で正常に接続されていることを確認します。</li> <li>前面パネルで LED アイコンのステータスを確認します。問題がある場合は、前面パネルの LED アイコンとエラー状態 (46 ページ) を確認してください。</li> <li>ケーブルテレビサービスを利用している場合は、ケーブルサービスが正常に動作していることをテレビで確認します。</li> <li>上記のどの解決策を実施しても問題が解決しない場合は、ご加入中のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。</li> </ul>
インターネットに アクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>DG6700C とコンピューターのすべてのケーブルと電源が正常に接続されていることを確認します。</li> <li>前面パネルの電源、オンライン、無線 LED アイコンが点灯していることを確認します。</li> <li>詳細については、ご加入中のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。</li> </ul>

DG6700Cで発生している問題	可能な解決策
無線機器がデータを送受信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>同軸ケーブルおよびイーサネット接続と IP アドレスを確認しても問題が解決しない場合は、「ワイヤレス - プライマリ ネットワーク設定」画面の「無線セキュリティ」設定を確認します。</li> <li>WPA を有効にし、DG6700C にパスフレーズを構成した場合は、影響を受けるすべての無線クライアントが同じパスフレーズを使用していることを確認します。それでも問題が解決しない場合は、無線クライアントが WPA に対応していることを確認します。</li> <li>WEP を有効にし、DG6700C にキーを構成した場合は、影響を受けるすべての無線クライアントが同じ WEP キーを使用していることを確認します。それでも問題が解決しない場合は、クライアントの無線アダプタが、DG6700C に構成された WEP キーのタイプに対応していることを確認します。</li> </ul>

## 前面パネルの LED アイコンとエラー状態

DG6700C 前面パネル LED アイコンを見ると、次のエラー状態についてのステータス情報がわかります。

表 8-2: 前面パネルの LED アイコンとエラー状態

LED アイコン	LEDの状態	DG6700Cの状態
電源  POWER	緑色の点灯表示	正しく接続され、使用可能な状態です
受信  RECEIVE	緑色の点滅	ダウンストリーム(受信)チャンネルをスキャンしています
送信  SEND	緑色/*青色の点灯	通常(緑色)または高速(青色)チャンネルに接続しています
	緑色の点滅	アップストリーム(送信)チャンネルをスキャンしています
オンライン  ONLINE	緑色の点滅	接続処理中
	緑色の点灯	接続完了(オンライン中)
ワイヤレス(2.4GHz)  2.4G	緑色の点灯/点滅	アイコンが緑色の場合、正常に動作中、点滅は、無線通信中を示す
	オレンジ色の点滅/点灯	WPS接続処理中/WPS接続処理終了**

LED アイコン	LEDの状態	DC6700Cの状態
ワイヤレス (5GHz) 	緑色の点灯/点滅 <hr/> オレンジ色の点滅/点灯	アイコンが緑色の場合、正常に動作中、 点滅は、無線通信中を示す <hr/> WPS接続処理中/WPS接続処理終了**
WPSボタン 	無線2.4GHz/5GHz 共用	WPS接続を開始するためのボタンです。

- \* チャンネルボンディングにて高速インターネット接続されていることを意味します。この機能の使用状況については、ご契約されたケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- \*\* WPS 接続処理が正しく終了した場合、約 5 分間オレンジの点灯を保持し、緑色に戻ります。WPS 接続処理が中断した場合、約2分間オレンジの点滅となり緑色に戻ります

## DG6700C 詳細設定項目

この章では、ARRIS DG6700C ネットワーク構成画面のフィールドについて詳しく説明します。

### 「基本」画面

「基本」画面では、構成データを表示、監視、構成できます。これにはネットワーク構成、LAN (ローカルエリアネットワーク) や WAN (ワイドエリアネットワーク) の接続タイプ、DHCP(ダイナミックホストコンフィギュレーションプロトコル)、DDNS (ダイナミックドメインネームシステム) などがあります。

### セットアップ

DG6700C の「基本 - セットアップ」画面では、ローカルネットワーク構成、WAN 接続タイプなど、DG6700C の IP 関連の基本的な構成データを設定できます。

ゲートウェイ動作モード		
ゲートウェイモード		ルーター ▼ ▶
プライマリネットワークモード		ルーター ▼ ▶
変更項目を有効にする為にリポートが起る場合があります。		
適用		
ネットワーク構成		
LAN	IP アドレス	192.168.49.1 ▶
	MAC アドレス	6c:ca:08:6e:af:e5 ▶
WAN	IP アドレス	動的取得 ▶
	MAC アドレス	44:e1:37:ffa3:ce ▶
	ゲートウェイ	10.22.0.1 ▶
	リース期間	D: 01 H: 00 M: 05 S: 00 ▶
	リース有効期限	Fri Oct 02 13:16:52 2015 ▶
	IPv4 DNS サーバー	192.168.1.1 ▶
		WANリース更新 ▶

図 9-1: 「基本 - セットアップ」画面

表 9-1: 「基本 - セットアップ」: フィールド説明

フィールド	説明
ゲートウェイモード	機器モードを設定します。 ルーター: 内部ネットワーク機器が WAN サブネットから貸与されたローカル IP アドレスを使用することができます。 ブリッジ: DG6700C のネットワークアドレスとポート変換設定を無効にします。
プライマリネットワークモード	プライマリネットワークモードの機器モードを設定します。 ルーター: 内部ネットワーク機器が WAN サブネットから貸与されたローカル IP アドレスを使用することができます。 ブリッジ: DG6700C のネットワークアドレスとポート変換設定を無効にします。
LAN IP アドレス	ホームネットワーク (LAN) の DG6700C の IP アドレス。
MAC アドレス	メディアアクセス制御アドレスは、製造時に割り当てられる 12 桁の 16 進数で、DG6700C アクセスポイントのハードウェアアドレスを一意に識別します。
WAN IP アドレス	DG6700C の公開 WAN IP アドレス。ケーブル通信事業者によって動的または静的に割り当てられます。
MAC アドレス	メディアアクセス制御アドレス - 製造時に割り当てられる 12 桁の 16 進数で、DG6700C アクセスポイントのハードウェアアドレスを一意に識別します。
リース期間	インターネット接続の有効期間。WAN のリース期間の有効期限が切れると、自動的に更新します。
リース有効期限	WAN のリース期間が切れる日時。
IPv4 DNS サーバー	ウェブサイト名をインターネットアドレスに変換するサーバーの IP アドレス。IP アドレスはケーブル通信事業者によって割り当てられます。
WAN リース開放	クリックすると WAN リースを開放します。
WAN リース更新	クリックすると WAN リースを更新します。

## DHCP

「基本 - DHCP」(動的ホスト構成プロトコル) 画面を使用し、ホームネットワークの DG6700C と DHCP サーバーの IP 設定を構成できます。また、オプションの内部 DG6700C DHCP サーバーのステータスも確認できます。



**警告!** IP アドレス指定、サブネット指定、DHCP に精通している、経験豊富なネットワーク管理者でない限り、これらの設定には手を加えないでください。

LANネットワーク構成						
LAN IP アドレス	192 . 168 . 49 . 1			▶ヘルプ		
DHCPサーバー有効	<input checked="" type="checkbox"/> 使用可能			▶ヘルプ		
開始IPアドレス	192.168.49.2			▶ヘルプ		
最終IPアドレス	192.168.49.254			▶ヘルプ		
リース期間	3600			▶ヘルプ		
適用						
予約IPアドレス						
MACアドレス	<input type="text"/>	IPアドレス	192.168.49. <input type="text"/>	ホスト名	<input type="text"/>	▶ヘルプ
適用						
デバイスリスト						
MACアドレス	IPアドレス	サブネットマスク	リース期間	有効期限	ホスト名	選択
48:5a:b6:7a:dc:e2	192.168.49.2	255.255.255.0	D:00 H:01 M:00 S:00	Thu Oct 01 15:58:23 2015	1404-011	<input type="radio"/>
削除						

図 9-2: 「基本 - DHCP」画面

表 9-2: 「基本 - DHCP」画面:フィールド説明

フィールド	説明
LAN ネットワーク構成	DG6700CのLANネットワークを設定します。
LAN IP アドレス	DG6700C 有線LAN、ワイヤレスLANのプライマリネットワークにIPアドレスをドット付き 10 進数表記で入力します。デフォルトは 192.168.0.1 です。
DHCP サーバー有効	DG6700C DHCP サーバーを有効にするには「使用可能」をチェックします。 DG6700C DHCP サーバーを無効にするには「使用可能」のチェックを外します。
開始 IP アドレス	DG6700C DHCP サーバーがクライアントに割り当てる開始 IP アドレスを、ドット付き 10 進数表記で入力します。 デフォルトは 192.168.0.2 です。
ネットワーク機器の最大数	DG6700C DHCP サーバーがプライベート IP アドレスを割り当てることのできる、最大クライアント数を設定します。
リース期間	DG6700C がクライアントに IP アドレスをリースする期間を秒単位で設定します。デフォルトは 3600 秒 (60 分) です。
予約IPアドレス	DHCP サーバーがホームネットワーク (LAN) の特定の IP アドレスを予約している、クライアントをリストします。
デバイスリスト	DHCP クライアント機器情報をリストします。

## DDNS

「基本 - DDNS」(ダイナミックドメインシステム) 画面を使用すると、動的 IP アドレスに静的インターネットドメイン名を割り当てるよう DDNS サービスを設定できます。DDNS を使用すると、機器は IP アドレスを DNS システムに報告できるようになるため、IP アドレスが変更された場合でも、そのフレンドリ名を IP アドレスに適切に変換できます。

図 9-3: 「基本 - DDNS」画面

表 9-3: 「基本 - DDNS」画面:フィールド説明

フィールド	説明
DDNS サービス	「無効」を選択するか、wwwDynDNS.org を選択するか、使用する DDNS サービスを入力して DDNS サービスを有効にします。
ユーザー名	DDNS のユーザー名を入力します。
パスワード	DDNS のパスワードを入力します。
デバイス名	DDNS の機器名を入力します。
IP アドレス	IP アドレスを表示します。
ステータス	DDNS が有効か無効かを表示します。

## LED コントロール

「基本 - LED コントロール」画面では、ユーザーがパワーLED を除いたフロントパネルの LED の点灯/消灯を設定することができます。

表 9-4: 「基本 - LEDコントロール」:フィールド説明

フィールド	説明
電源LEDを除く前面パネルのLEDをオフにします	無効: 全てのLEDを動作状態にします(デフォルト) 有効: 電源LEDを除く全てのLEDを消灯します。

## バックアップと復元

「基本 - バックアップと復元」画面では、DG6700C の現在の構成情報のバックアップコピーをコンピューターにローカルで保存したり、以前保存されたDG6700C 構成情報を復元することができます。

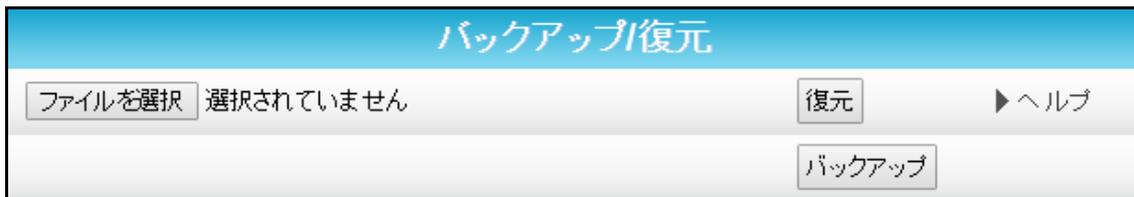


図 9-4: 「基本 - バックアップと復元」画面

表 9-5: 「基本 - バックアップと復元」: フィールド説明

フィールド	説明
ファイルを選択	コンピューター上のファイルを検索し、ゲートウェイ構成の復元や保存ができます。
復元	以前保存されたDG6700C構成を復元します。
バックアップ	現在のDG6700C構成のバックアップコピーを作成します。

## 「詳細」画面

詳細画面は、ホームネットワークをより詳細に設定する場合に使用します。

## オプション

「詳細 - オプション」を使用すると、DG6700C がホームネットワーク上の IP トラフィックをルーティングする方法を調整する動作モードを設定できます。

WANブロック	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
IPsec パススルー	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
PPTP パススルー	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
リモート構成情報管理	<input type="checkbox"/> 有効
マルチキャスト有効	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
UPnP 有効	<input type="checkbox"/> 有効

適用

### パススルー MAC アドレス

MAC アドレス追加 (例: 01:23:45:67:89:AB)

登録済みMACアドレス: 0/32

MAC アドレス削除    すべてクリア

図 9-5: 「詳細 - オプション」画面

表 9-5: 「詳細 - オプション」:フィールド説明

フィールド	説明
WANブロック	DG6700C ウェブマネージャーや、その背後にあるコンピューターが、DG6700C WAN のコンピューターから見えなくします。
IPsec パススルー	DG6700C ウェブマネージャーで IPsec パススループロトコルを有効にし、VPN 機器 (またはソフトウェア) が WAN と正常に通信できるようにします。
PPTP パススルー	DG6700C ウェブマネージャーを通じてポイントツーポイントトンネルプロトコル (PPTP) パススループロトコルを使用し、VPN 機器 (またはソフトウェア) が WAN と正常に通信できるようにします。
リモート構成情報管理	DG6700C ウェブマネージャーにリモートアクセスできるようにします。インターネットの任意の場所から、DG6700C ウェブマネージャーの WAN IP アドレス (ポート 8080) にアクセスし、DG6700C WAN を構成できます。 たとえば、インターネットブラウザの URL ウィンドウに <code>http://WanIPAddress:8080/</code> と入力し、DG6700C ウェブマネージャーにリモートからアクセスします。
マルチキャスト有効	マルチキャスト固有トラヒック (マルチキャスト固有アドレスとして表示) を DG6700C ウェブマネージャーの背後にあるホームネットワーク (LAN) 上のコンピューター間でやり取りします。
UPnP 有効	DG6700C ウェブマネージャーで Universal Plug and Play プロトコル (UPnP) をオンにします。 DLNA などの UPnP が必要な アプリケーションを使用している場合はこのオプションを選択します。
MAC アドレス追加	ブロック対象のコンピューターの MAC アドレスを入力し、「MAC アドレス追加」ボタンをクリックします。 最大で 20 個の MAC アドレスを追加できます。
MAC アドレス削除	削除またはブロックする MAC アドレスフィルターを入力し、「MAC アドレス削除」をクリックします。
「すべてクリア」ボタン	MAC アドレスフィルターをすべて削除します。

## IP フィルタリング

IP フィルタリングを使用すると、DG6700C WAN へのアクセスを拒否するローカルコンピューターを指定できます。IP アドレスフィルタリングを構成し、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスの範囲を入力すると、ホームネットワーク上の特定のネットワーク機器へのインターネットトラフィックをブロックすることができます。



**注:** IP アドレスの LSB (最下位バイト) のみを入力してください。IP アドレスの上位バイトは、DG6700C ウェブマネージャーの IP アドレスから自動的に設定されます。

IP フィルタリング		
開始アドレス	終了アドレス	有効
192.168.49. <input type="text" value="0"/>	192.168.49. <input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.49. <input type="text" value="0"/>	192.168.49. <input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.49. <input type="text" value="0"/>	192.168.49. <input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.49. <input type="text" value="0"/>	192.168.49. <input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.49. <input type="text" value="0"/>	192.168.49. <input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.49. <input type="text" value="0"/>	192.168.49. <input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.49. <input type="text" value="0"/>	192.168.49. <input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.49. <input type="text" value="0"/>	192.168.49. <input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.49. <input type="text" value="0"/>	192.168.49. <input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>
192.168.49. <input type="text" value="0"/>	192.168.49. <input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="button" value="適用"/>		

図 9-6: 「詳細 - IP フィルタリング」画面

表 9-6: 「詳細 - IP フィルタリング」: フィールド説明

フィールド	説明
開始アドレス	DG6700C WAN へのアクセスを拒否するコンピューターの開始 IP アドレス範囲を入力します。 IP アドレスの最下位バイトのみ入力してください。
終了アドレス	DG6700C WAN へのアクセスを拒否するコンピューターの終了 IP アドレス範囲を入力します。 IP アドレスの最下位バイトのみ入力してください。
有効	選択すると、IP アドレスフィルタリングが有効になります。 DG6700C WAN へのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲に対し、「有効」を選択します。 終了したら「適用」をクリックし、有効にして保存します。

## MAC フィルター

MAC フィルターを設定すると最大で 20 個のメディアアクセス制御 (MAC) アドレスフィルターを定義し、MAC アドレスを介して WAN に TCP/UDP の発信トラフィックを送信しないよう設定できます。一部の NIC カードの MAC アドレスは、DHCP サーバーを使用して割り当てられたり、さまざまなアドレスに対してハードコードされたりする IP アドレスとは違って変更できません。この機能は、特定の機器を制限する場合に便利です。

図 9-7: 「詳細 - MAC フィルター」画面

表 9-7: 「詳細 - MAC フィルター」: フィールド説明

フィールド	説明
MAC アドレス追加	ブロック対象のコンピューターの MAC アドレスを入力し、「MAC アドレス追加」ボタンをクリックします。 最大で 20 個の MAC アドレスを追加できます。
MAC アドレス削除	ブロックを削除する MAC アドレスフィルターを入力し、「MAC アドレス削除」をクリックします。
「すべてクリア」ボタン	MAC アドレスフィルターをすべて削除します。

## ポートフィルタリング

ポートフィルタリングを使用すると、すべての機器が特定の IP ポートの WAN に発信 TCP/UDP トラフィックを送信できないよう、ポートフィルターを定義できます。開始ポートと終了ポートの範囲を指定することで、WAN への発信 TCP/UDP トラフィックをポート単位で設定できます。



**注:** 指定されたポート範囲はすべてのコンピューターに対してブロックされます。この設定は IP アドレスや MAC アドレス固有のものではありません。たとえば、ホームネットワーク上のすべてのコンピューターが HTTP サイトにアクセスできないよう (またはウェブサーフィンできないよう) ブロックするには、次のポートフィルターを作成します。一連のフィルターの作成が終了したら「適用」をクリックします。

- 「開始 ポート」を 80 に設定
- 「終了 ポート」を 80 に設定
- 「プロトコル」を TCP に設定
- 「有効」を選択

ポートフィルタリング			
開始ポート	終了ポート	プロトコル	有効
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="65535"/>	両方 ▼	<input type="checkbox"/>
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="65535"/>	両方 ▼	<input type="checkbox"/>
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="65535"/>	両方 ▼	<input type="checkbox"/>
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="65535"/>	両方 ▼	<input type="checkbox"/>
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="65535"/>	両方 ▼	<input type="checkbox"/>
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="65535"/>	両方 ▼	<input type="checkbox"/>
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="65535"/>	両方 ▼	<input type="checkbox"/>
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="65535"/>	両方 ▼	<input type="checkbox"/>
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="65535"/>	両方 ▼	<input type="checkbox"/>
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="65535"/>	両方 ▼	<input type="checkbox"/>
<input type="button" value="適用"/>			

図 9-8: 「詳細 - ポートフィルタリング」画面

表 9-8: 「詳細 - ポートフィルタリング」: フィールド説明

フィールド	説明
開始ポート	ポートフィルタリング範囲の開始ポート番号。
終了ポート	ポートフィルタリング範囲の終了ポート番号。
プロトコル	ドロップダウンリストから「TCP」、「UDP」、または「両方」を選択します。
有効	選択された IP ポートトリガーを有効にするには選択、無効にするには選択解除します。

## ポートフォワーディング

ポートフォワーディングでは、TCP/UDP ポートをローカルコンピューターにマッピングすることで、ホームネットワーク上でインターネットからアクセス可能なサーバーを稼働できるようになります。これにより、特定のポート番号への受信リクエストがウェブサーバー、FTP サーバー、メールサーバーなどに到達し、インターネットからアクセスすることが可能になります。

ポートをマッピングするには、ローカル的に転送するポート番号の範囲と、これらのポートにトラフィックを送信するための IP アドレスを入力します。単一ポート指定しか行わない場合は、その IP アドレスに対して開始ポートと終了ポートを同じ番号に設定します。

また、一般的に使用されるポート番号も記載されているので参考にしてください。次に、一般的なアプリケーションで使用されるポートを示します。

一般的に転送されたポート	
Battle.net.....6112 / TCP	Playstation 3.....80 / TCP
BitTorrent.....6881-6999 / 両方	Playstation 3.....3478 / UDP
Call of Duty.....28960 / UDP	Playstation 3.....443 / TCP
eMule.....4662 / TCP	Playstation 3.....3479 / UDP
eMule.....4672 / UDP	Playstation 3.....5223 / TCP
GameSpy Arcade.....6500 / TCP	Playstation 3.....3658 / UDP
Gnutella.....6346-6347 / 両方	Quicktime.....6970 / UDP
Half-Life.....27015 / 両方	Second Life.....12035-12036 / UDP
Halo.....2302 / UDP	Slingbox.....5001 / UDP
Internet Radio.....8000 / 両方	Steam.....1725 / UDP
IRC.....6665-6669 / TCP	Steam Friends.....1200 / UDP
MS Media Server....1755 / 両方	Synergy.....24800 / TCP
Playstation 3.....80 / TCP	TeamSpeak.....8767 / UDP
Playstation 3.....3478 / UDP	Ventrillo.....3784-3785 / 両方
Playstation 3.....443 / TCP	War of Warcraft....3724 / 両方
Playstation 3.....3479 / UDP	XBOX 360.....80 / TCP
Playstation 3.....5223 / TCP	XBOX 360.....88 / UDP
Playstation 3.....3658 / UDP	XBOX 360.....53 / 両方
Quicktime.....6970 / UDP	XBOX 360.....3074 / 両方
	Yahoo Messenger....5050 / TCP

図 9-9: 一般的に使用されるポートフォワーディングのポート番号リスト

IPv4 エントリー

外部IPアドレス & スタート/エンドポート	ローカルIPアドレス & スタート/エンドポート	説明	プロトコル	有効
<input type="text" value="0.0.0.0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0.0.0.0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>	<input type="text" value=""/> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">一般的に転送されたポート</div>	TCP ▼	オフ ▼
0.0.0.0は、インターネット上の任意のデバイスからのパケットは、設定されたポートに転送されることを可能にするデフォルト値(IPアドレス)である				
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>				

ポートフォワーディング

外部IPアドレス & スタート/エンドポート	ローカルIPアドレス & スタート/エンドポート	説明	プロトコル	転送
<input type="button" value="全て削除"/>				

図 9-10: 「詳細 - ポートフォワーディング」画面

表 9-9: 「詳細 - ポートフォワーディング」:フィールド説明

フィールド	説明
外部IPアドレス&スタート/エンドポート	単一ポート: リモート IP アドレスと特定のポート番号 (「開始ポート」と「終了ポート」フィールドに同じポート番号を入力)。 ポート範囲: リモート IP アドレスと特定のポート番号の範囲 (「開始ポート」と「終了ポート」フィールドに、特定のポート範囲の最初のポート番号と最後のポート番号を入力)。
ローカルIPアドレス&スタート/エンドポート	単一ポート: ローカルコンピューターまたは機器の IP アドレスと特定のポート番号 (「開始ポート」フィールドと「終了ポート」フィールドに同じポート番号を入力)。 ポート範囲: ローカルコンピューターまたは機器の IP アドレスと、特定のポート番号の範囲 (「開始ポート」と「終了ポート」フィールドに、特定のポート範囲の最初のポート番号と最後のポート番号を入力)。
説明	転送されたポートの名前。
プロトコル	「インターネットプロトコル」に「TCP」、「UDP」、または「両方」を選択します。
有効	選択されたポートでポートフォワーディングを有効または無効にするには、「オン」か「オフ」を選択します。
一般的に転送されたポート	一般的なアプリケーションによって使用されるポート番号のリスト。

## DMZ ホスト

ホームネットワーク上の 1 台のコンピューターを DMZ ホストとして構成できます。そのコンピューターは DG6700C のファイアウォールの外で動作します。この機能を使用すると、インターネットからコンピューター、ゲーム機、またはその他の IP 対応機器へのリモートアクセス用にサブネットワークを個別に設定できるので、ホームネットワークをハッカーなどのインターネットからの外部攻撃から防御することができます。外部のユーザーは指定された DMZ ホスト機器にのみアクセスでき、ホームネットワークへのアクセスは許可されません。

コンピューターを DMZ ホストとして設定する場合は、アプリケーション終了時に必ず IP アドレスを 0 (ゼロ) にリセットしてください。このコンピューターはインターネットに公開された状態になっています。コンピューターは DG6700C ファイアウォール経由でサービス妨害 (DoS) 攻撃から保護されていますが、それでもインターネットには公開された状態です。

図 9-11: 「詳細 - DMZ ホスト」画面

表 9-10: 「詳細 - DMZ ホスト」:フィールド説明

フィールド	説明
DMZ ホスト	DMZ ホストとして設定するコンピューターの IP アドレスを入力します。

## 「ファイアウォール」画面

ホームネットワークのファイアウォールフィルターやアラート通知を設定できます。DG6700C ファイアウォールは、DG6700C LAN を不正アクセスなどの外部侵入から守ります。ファイアウォールによる保護には、次のメリットもあります。

- 侵入検知、セッション追跡、サービス妨害攻撃の防御に対応した、高度で統合的なステートフルインスペクションファイアウォール
- OSI ネットワークとトランスポート層ですべての TCP/IP セッションの状態データを維持する
- 着信および発信パケットをすべて監視し、そのそれぞれにファイアウォールポリシーを適用し、不正パケットや侵入試行を除外する
- 以下に関する包括的な通知を送信する:
  - a) ユーザー認証
  - b) 拒否された内部/外部通信リクエスト
  - c) セッション作成と終了
  - d) 外部攻撃 (侵入検知)

## 保護レベル

「ファイアウォール - 保護レベル設定」画面では、ブロッキングに加え、WAN から DG6700C を介して LAN に送信されるさまざまなデータタイプを排他的に許可できます。許可されるサービスの数に応じ、3 つのセキュリティファイアウォール保護レベルがあります。

- オフ - セキュリティなし、リスクが最も高い
- 低 - 最小限のセキュリティ、リスクが高い
- 中 - 標準的な構成、中程度のリスク
- 高 - 最も安全な構成、セキュリティが最も高い

ファイアウォール保護により、ステートフルパケットインスペクション (SPI) ファイアウォール機能を使用できるようになります。「断片化 IP パケットブロック」は、断片化された IP パケットがファイアウォールを一切通過できないようにします。「ポート スキャン検出」は、LAN と WAN で行われるポートスキャン活動を検出し、ブロックします。「IP フラッド検出」は、LAN と WAN から発生するパケットフラッドを検出し、ブロックします。

Java アプレット、Cookies、ActiveX コントロール、ポップアップウィンドウ、プロキシをブロックすることもできます。

図 9-12: 「ファイアウォール - 保護レベル」画面

表 9-11: 「ファイアウォール - 保護レベル」:フィールド説明

フィールド	説明
ファイアウォール - 保護レベル	DG6700Cのファイアウォール保護のレベルを、「低」、「中」、「高」から選択します。 ファイアウォール保護を無効にするには、「オフ」を選択します。 注:ファイアウォール保護をオフにした場合、コンピューターもホームネットワーク上のイーサネット対応機器も、ウィルスやハッカーの攻撃を受けるリスクがあります。
ファイアウォール設定	ファイアウォールに設定する各フィルターにチェックを入れます。 終了したら「適用」をクリックします。
許可されたサービス	ホームネットワークからアクセスを許可するよう選択したウェブサイトをリストします。

## 安全上の注意 および 法規制に関する情報

### 安全に関する重要なお知らせ

使用前にお読みください。

本装置を使用する際、火災、感電および人身負傷のリスクを軽減するため、以下のものを含む基本的な安全対策を講じる必要があります。

- 本装置を操作する前に、本節または取扱説明書(付属の場合)をお読みください。以下のすべての安全対策に、注意を払ってください。また、今後参照できるように、この説明書を大切に保管してください。
- 本装置を、装置に付属する文書に記載されている指示に厳密に従って設置および使用する必要があります。
- 指示の中にあるすべての『警告』および『注意』に従ってください。本装置に添付されているすべての『警告』および『注意』のシンボル(図記号)を確認してください。
- 本製品は、屋内に設置し、屋内でご使用ください。
- 火災または感電を防ぐため、本装置を雨のかかる場所または湿気の多い場所に置かないでください。本装置に水滴やしぶきが、かからないようにしてください。花瓶など、水の入った容器を装置の上に置かないでください。また、結露の影響を受ける場所に本装置を設置しないでください。
- 本装置はシステムコンポーネント間で付属ケーブルにより接続した状況でテストされ、使用が承認されています。法規制および安全性を遵守するため、付属している電源コードおよびインターフェースケーブルを使用してください。LAN ケーブルを調達する場合は、カテゴリ 5e または カテゴリ 6 の LAN ケーブルをご使用ください。
- 本製品の主電源回路までの接続には、使用国で適用される機器の安全性要件すべてに準拠した主線コードのみが使用されていることを確認してください。
- 本装置の設置方法は、国内の配線規則および地方自治体の規制に適合している必要があります。
- 本装置には、本装置のラベルに表示されている 100V 50Hz/60Hz の交流電源を使用してください。ご自宅に供給されている電源の種類がわからない場合は、地域の契約ケーブルテレビ会社または契約電力会社にご相談ください。
- 火災または感電の危険があるため、コンセントまたは延長コードに差し込むプラグを多用しないでください。電源コンセントへのたこ足配線、延長コード、擦り切れた電源コード、損傷またはひびの入ったケーブル被覆および破損したプラグのご使用は危険です。これらは感電および火災を発生させるおそれがあります。
- 電源コードの長さに合わせて、本装置を電源コンセントに十分近い場所に設置してください。コードを踏んだり、上に置かれた物や接触する物によってコードが挟まれないように、電源コードを配線してください。プラグまたは多孔コンセントに差し込まれているコードには特に注意するとともに、この装置への差し込み口を点検してください。
- 装置の電源コードを壁面の電源コンセントから抜くときは、容易に操作できる場所に装置を置いて操作を行ってください。
- プラグを延長コード、コンセント、または他の差し込み口に接続するときは、プラグの先端部分が見えなくなるまで完全に差し込んでください。
- 本装置は安定した場所に設置してください。
- アースされた同軸ケーブルテレビ差込口へ DG6700C を接続する時、同軸ケーブルに触れてワイヤレス DG6700C が静電気によって損傷することを避けてください。
- イーサネットケーブルを DG6700C または パーソナル コンピューター (PC) から取り外すまたは接続するときは、静電気による損傷を避けるために、必ず最初に DG6700C にある同軸ケーブルコネクタに触れてください。
- 本装置の接続先 電源コンセントに、交流サージ保護器を設置することを推奨します。保護器は、落雷や他の電気サージによる装置への損傷を防ぎます。
- 近くに雷雨または稲妻が発生する恐れがあるときには、本装置の設置作業を延期してください。
- 本製品を水の近くで使用しないでください。例えば、浴槽、洗面台、台所流し台または洗濯槽、湿った地下室またはスイミングプールのそばで使用しないでください。
- 本装置を覆ったり他の物で空気の流れをふさいだりしないでください。本装置は、高温多湿を避けた場所や、振動およびほこりのない場所に設置してください。
- 本装置は清潔で乾燥した布を使用してふいてください。クリーニング液あるいはそれに類似した化学薬品は絶対に使用しないでください。本装置にクリーナーを直接噴霧しないでください。また、ほこりを取り除くために、エアコンなどの噴出し口からの風を利用したりしないでください。
- 更なる保護のため、近くに雷が発生する恐れがある場合には、電源コードを壁コンセントから抜き取り、LAN ケーブルを取り外して、落雷および電気サージによる本装置の損傷を防いでください。
- 本装置のサービスまたは修理が完了したら、本装置が安全に操作できる状態であることを確認するため、サービス技術者に安全点検を依頼してください。
- 室温が 40° C (104° F) を超える場所で本装置を使用しないでください。
- 本装置を分解しないでください。設置やトラブルシューティングに関する指示に含まれていないサービスは実施しないでください。どのサービスについても、資格を有するサービス担当者にご相談ください。
- 万が一異常が発生した場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災、やけどなどの原因になる恐れがあります。

これらの指示を大切に保管してください

### CATV システム設置者への注記

この注記は、同軸ケーブルのシールドを建物のアースシステムに接続すること、特にケーブル引き込み場所のできるだけ近くに接続するとする適切なアース方法に関するガイドラインを示す米国電気規

則(National Electric Code)の 820.93 条 および 820.100 条に CATV システム設置者の注意を向けるためのものです。本製品を設置する際には、放送法施行規則 152 条 強電流電線に従い、保安器または 住宅用鋼管引込小柱 などを用い、適切に接地して頂きますようお願い致します。

### リサイクルによる環境への配慮

本装置の使用を終了するときには、装置を返却するなどの契約ケーブル事業者またはサービスプロバイダの示す方法に従ってください。やむを得ず、本装置を廃棄する場合には、地方自治体で定められた方法に従ってください。お住まいの地域によっては、電気電子廃棄物を収集およびリサイクルするシステムがあり、効率の良い資源のリサイクルが可能です。お住まいの地域での廃棄の方法については、地方自治体窓口にお問い合わせください。

### 情報処理装置等電波障害自主規制について



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

## 無線通信機器の電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジや産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局) および 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局 及び 特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2) 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか 又は 電波の発射を停止した上、ご契約のケーブルテレビ事業者にご連絡頂き、混信回避のための処置等 (例えば、パーティションの設置など) についてご相談下さい。
- 3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事案が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、ご契約のケーブルテレビ事業者にご相談ください。

## 無線 LAN の情報

このデバイスは、直接拡散方式(DSSS)及び 直交周波数分割多元接続(OFDMA)無線技術を使用する無線ネットワーク製品です。

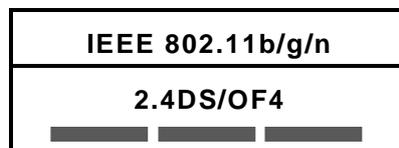
デバイスは以下に準拠する DSSS と OFDMA 方式の他の無線製品との相互運用ができるように設計されています。

電気電子技術者協会により定義され、承認された無線 LAN IEEE 802.11 規格(リビジョン B、リビジョン G、リビジョン N、リビジョン A および リビジョン AC)をサポートした製品。

無線イーサネット互換性連合(WECA)で定義されているワイヤレス フィデリティ(Wi-Fi)認証を取得した製品。



以下に、本製品で使用される 2.4GHz 帯での IEEE 802.11b/g/n の無線通信のための変調方式、想定干渉距離、および選択可能な周波数を示します。



表示	説明
2.4	無線局は、2.4GHz 帯を利用します。
DS/OF	DS-SS および OFDM 変調方法を使用します。
4	想定干渉距離は 40 メートル以下です。
■ ■ ■	全帯域を使用し、この無線局は移動体識別装置が使用する帯域を回避することができることを示します。

以下に、本製品で使用される 5GHz 帯の IEEE 802.11a/n/ac 無線通信の適用仕様を示します。

IEEE 802.11a/n/ac			
J52	W52	W53	W56

表示	周波数帯	説明
J52	5.2GHz	34/38/42/46 チャンネルはサポートなし。
W52	5.2GHz	36/40/44/48 チャンネルはサポート。
W53	5.3GHz	52/56/60/64 チャンネルはサポート。
E56	5.6GHz	100/104/108/112/116/120/124/128/ 132/136/140 チャンネルはサポート。

### 無線機器の使用に関する制限

幾つかの状況や環境においては、無線機器の使用は、建物の所有者 または 組織の責任者によって制限されるかもしれません。例えば、他のデバイスやサービスへの干渉の危険性が認識されるか、有害であると識別されるような環境での無線機器の使用が考えられます。あなたが特定の組織や環境での無線機器の使用に適用されるべき方針が不明な場合は、機器の電源を入れる前に、機器を使用する許可を適切な責任者にお尋ねください。

本製品の製造者は、製造者が指定した以外のケーブル接続、構成デバイスの置換、または 本製品のデバイスを不正改造したことにより生じるいかなるラジオやテレビへの干渉についても責任を負いません。そのような不正な変更、置換、または接続により起こされる干渉の是正は使用者の責任です。

製造者、認定再販業者、または 販売代理店は、これらの指針に従わないことにより生ずる可能性があるいかなる損害 または 政府規制違反の責任を負いません。

注意: 5150-5350 MHz の周波数帯の使用は、屋内のみに限定されています。

セキュリティ警告: このデバイスは、無線ネットワークを構築することができます。適切でないネットワークの構成により、無線ネットワーク接続が許可されていないユーザーがアクセス可能かもしれません。ネットワークを保護する方法の詳細や、手順については、Touchstone DG6700C ユーザーガイドを参照するか、[www.arris.com/consumer](http://www.arris.com/consumer) で ARRIS のサポート Web サイトを参照してください。

### ソフトウェアライセンス

Touchstone® DG6700C DOCSIS 3.0 ワイヤレス ゲートウェイ  
ARRIS Enterprises, Inc.  
3871 Lakefield Drive, Suwanee, GA 30024 (以下「ARRIS」)

重要: ARRIS のケーブル データ ワイヤレス ゲートウェイ製品(以下「ケーブル データ製品」)に付属するソフトウェア ファームウェアおよび関連文書(以下「ソフトウェア」) をインストール、ダウンロード、または使用する前に、本ソフトウェア契約書(以下「契約書」)を注意深くお読みください。ケーブル データ製品を使用するために本ソフトウェアをインストール、ダウンロード、または使用した場合、お客様は本契約書の各条項に合意したものと見なします。本契約書はお客様と ARRIS との合意の上で締結された法的な契約書になります。本契約書の条項は、本ソフトウェアを使用するお客様および本製品を受け継いで使用するすべてのユーザーに適用されます。

本契約書の条項の一つでも同意されない場合、(I) 本ソフトウェアを未インストールおよび未使用のまま、(II) すべてのコンポーネント、文書、その他製品に付属した全同梱品を含む、ケーブル データ製

品およびソフトウェア(以下、「製品」と総称する)を販売店またはサービスプロバイダに、購入代金の全額の払い戻しを受けるべく、ご返品ください。本ソフトウェアをインストールまたはご使用された場合、お客様が本ライセンス契約の条項によって拘束されることに合意したものと見なします。

ここで「ソフトウェア」とは関連した媒体、印刷物、オンラインまたは電子文書、すべてのアップデート、改訂、不具合修正または ARRIS からサービスプロバイダから取得したドライバを含むものとします。第三者から提供されたソフトウェアは、そのソフトウェア実施許諾業者から別途提供されるエンドユーザー使用許諾契約の対象となる場合があります。

本ソフトウェアは販売されるものではありません。ARRIS は最初のお客様あるいはそれ以降のユーザーに、本契約書の条件に従う場合に限り、個人使用に限り本ソフトウェアの使用を許諾します。ARRIS と第三者の実施許諾者が、本ソフトウェアの所有権を留保します。

### 許諾事項:

この製品の操作にのみ本ソフトウェアを使用してください。

本契約書の全条項に合意する場合に限り、本ソフトウェア(すべてのコンポーネントパーツや印刷物を含む)を他人に永久的に譲渡できます。本ソフトウェアを譲渡する場合、製品と(該当する場合は)すべてのソフトウェア複製物を同時に譲渡するか、すべての複製物を破棄する必要があります。

いかなる形態であっても、本ソフトウェアの原版および(該当する場合は)全複製物を破棄することにより、本契約を終了できます。

### 禁止事項:

(1) 上記の「譲渡」の項目で許可されている場合を除き、ソフトウェアの一部または全部の貸し出し、配布、レンタル、リース、贈与、サブライセンス、その他の譲渡。(2) 個人的な使用を除き、ソフトウェアに含まれるユーザーガイドの複製または翻訳。(3) ソフトウェアの複製、変更、翻訳、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング。これらには、互換性のないハードウェアで使用できるように本ソフトウェアを変更することも含まれますが、これらに限定されるものではありません。(4) ソフトウェアのプログラムや文書の著作権情報やスタートアップメッセージが表示されないようにする削除 または 変更。(5) 米国のいずれかの輸出法令に違反するソフトウェアまたは製品コンポーネントの輸出。

本ソフトウェアは、航空機のオンライン管制、航空の交通、航空機ナビゲーション、または航空機通信、ならびに原子力施設の設計、建設、運営や維持を意図するものではありません。ARRIS と第三者の実施許諾者は、このような使用に関する適合性について明示的または黙示的な保証をしません。お客様は、本製品をそれらの目的に使用しないことを表明および保証するものとします。

本ソフトウェアに関するすべての権利は、前述の現存する著作権、マスクワーク権、特許権、商標、およびすべての知的所有権を含め、今後のあらゆる変更や修正とともに、いかなる状況でも ARRIS と第三者の実施許諾者に属します。ARRIS は、本契約書に明記されていない他のすべての権利も保有します。本ソフトウェアは、その中にあるすべてのイメージ、グラフィックス、写真、アニメーション、ビデオ、オーディオ、音楽、テキストを含め、ARRIS または第三者の実施許諾者が所有し、米国の著作権法と国際著作権条約によって保護されています。本契約書で明記されている場合を除き、製品または文書のいかなる部分の複製、再版、配布、派生物の作成も、これらの法規および条約により厳格に禁止されています。本契約書のいかなる記述も、米国著作権法に基づく ARRIS の権利を放棄するものではありません。

本ライセンス、およびライセンスに記載されているお客様の権利は、法による原則に抵触する場合を除き、米国ペンシルバニア州法に基づくものです。お客様が本契約書の条項に違反した場合、ライセンス契約は自動的に解除されます。

ARRIS は、本ソフトウェアに同梱されている または その他の手段で本ソフトウェアとともに提供される他社製ソフトウェアについて、一切の責任を負いません。

### 米国政府の制限付き権限

本ソフトウェアと文書は、権利が制限された状態で提供されます。米国政府による使用、

配布、公開は、「The Rights in Technical Data and Computer Software (技術的なデータおよびコンピュータソフトウェアに関する権利) 条項 52.227-7013」の項 (c)(1)(ii) に規定されている制約の対象になります。請負者/製造者は ARRIS Enterprises, Inc.、所在地は 3871 Lakefield Drive, Suwanee, GA 30024 です。

### 保証に関する情報

Touchstone DG6700C DOCSIS 3.0 ワイヤレス ゲートウェイ

ARRIS Enterprises, Inc. (以下「ARRIS」)

#### 限定保証について:

本製品 (Touchstone) がケーブル事業者またはサービスプロバイダから提供された場合、エンドユーザーであるお客様に対して、本製品の保証を直接にはご提供いたしません。本製品(ソフトウェアを含む)の限定保証は、お客様へ本製品をお渡ししたケーブル事業者またはインターネットサービスプロバイダ (以下、「サービスプロバイダ」) によって提供されます。本製品について問題が発生した場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。限定保証の期間についての 詳細はご加入のサービスプロバイダにお問い合わせください。

#### 一般情報:

以下の事項に対し、この節で述べられる保証は適用されません。(i) 事故、誤用、過失、改造、天災、不適切な取り扱い、不適切な輸送、不適切な保管、不適切な使用または適用、不適切なインストール、不適切なテストまたは権限なく行われた修理の影響を受けたいかなる製品。(ii) 表面上の問題または 普通に使用した場合に起こる通常範囲での磨耗、あるいは製品の性能および使用に影響を与えない場合。ARRIS の保証は、ARRIS によって製造され、ARRIS が所有する商標および商標名または製品に取り付けられた識別ロゴによって識別された製品のみに適用されます。ARRIS はこの製品をエンドユーザーであるお客様に対して直接保証するものではありません。また、ARRIS はエンドユーザーであるお客様に対して、いかなるソフトウェアについてもエラーが全く発生しない、または不具合が一つもないことを保証するものではありません。

ARRIS は、第三者から提供されたいかなるソフトウェアに関しても一切責任を負わないものとし、これらのソフトウェアは「現状のまま」提供されるものです。また、本節「保証に関する情報」にて記載した事項を除き、本製品に関する商品性、特定目的への適合性、または商業規制によって定められている侵害に対する黙示の保証を含むが、必ずしもそれらに限定されない、明示的、暗示的、または制定法であることを問わず、いかなる保証も行わないものではありません。黙示の保証の除外を認めない法域については、上記の除外は適用されません。

#### その他の知っておくべき条件について:

ARRIS はお客様が本製品をご購入になった目的または用途について知ることはできませんので、お客様がインストールおよび使用において製品の選択に全責任を負うものとします。お客様が製品を使用しながらお楽しみいただけることを保証するよう最善を尽くしておりますが、ARRIS は製品の機能がお客様の要求を満たすこと、または中断あるいはエラーなく製品が作動することは完全保証するものではありません。ARRIS は、この製品と他のいかなるソフトウェアおよびハードウェアを組み合わせるご使用になった場合に発生した問題または損害に対する責任を負うものではありません。製品を分解、変更、または破損した場合、すべての保証は無効となります。

これらは、お客様自身または他の人物によるもの、あるいは契約または不正行為によるものにかかわらず、この製品にから発生する、あるいはこの製品に関連して発生する可能性のある、あらゆる要求に対する唯一かつ排他的な救済方法です。

ARRIS は製品の故障、あるいは製品が稼働できないことによって生じる、または保証の不履行により (営業利益の損失、営業の支障による損失、情報の損失、その他あらゆる金銭的損害を含むがそれらに限定されない)、直接的、間接的、一般的、特別的、偶発的、必然的、例外的、または他の損害について、ARRIS がかかる損害の可能性について知らされていた場合であっても、一切の責務を負わないものとします。

ARRIS の保証は、抵触法あるいは国際連合条約の国際売買契約法の条項を除き、ペンシルバニア州法に準拠するものとします。

### 保証サービスを受けるお手続きについて:

製品のカスタマーサービス、テクニカルサポート、保証の要求、インターネットサービスまたは接続に関する質問については、ご加入のケーブルテレビ事業者 または サービスプロバイダにお問い合わせください。

Corporate Headquarters

ARRIS · Suwanee · Georgia · 30024 · USA

T:1-678-473-2000 F:1-678-473-8470

[www.arris.com](http://www.arris.com)

365-095-29135 x.1 11/15